

平成 26 年度

当初予算資料

市長公室

平成26年度 当初予算会計別総括表

単位:千円、%

区 分		平成26年度	平成25年度	増 減	対前年度比
一般会計当初予算額①		13,058,080	12,728,299	329,781	2.6
特 別 会 計 ②		3,674,945	3,572,661	102,284	2.9
特 別 会 計 内 訳	国民健康保険事業	2,926,818	2,839,587	87,231	3.1
	後期高齢者医療事業	567,870	543,641	24,229	4.5
	青年の家事業	6,089	6,457	△ 368	△ 5.7
	市有林整備事業	25,043	30,190	△ 5,147	△ 17.0
	紀和診療所事業	74,141	73,203	938	1.3
	紀和地区水道事業	74,984	79,583	△ 4,599	△ 5.8
	水道事業会計③		620,674	774,637	△ 153,963
合計(①+②+③)		17,353,699	17,075,597	278,102	1.6

|

一般会計歳出予算の状況

(単位：千円、%)

区 分	26年度当初 A	25年度当初 B	比 較		構成比	
			増減額 A - B	増減率 A/B		
1 義務的経費	5,783,091	5,745,298	37,793	0.7	44.3	
内 訳	人件費	2,466,308	2,749,579	△ 283,271	△ 10.3	18.9
	扶助費	1,588,213	1,411,656	176,557	12.5	12.2
	公債費	1,728,570	1,584,063	144,507	9.1	13.2
2 普通建設事業費	3,013,868	2,394,808	619,060	25.9	23.1	
内 訳	補助事業	1,504,201	1,159,545	344,656	29.7	11.5
	単独事業	1,509,667	1,235,263	274,404	22.2	11.6
3 災害復旧費	41,396	412,155	△ 370,759	△ 90.0	0.3	
4 その他経費	4,219,725	4,176,038	43,687	1.0	32.3	
合 計	13,058,080	12,728,299	329,781	2.6	100.0	

参考 実質的な予算額（13か月予算）

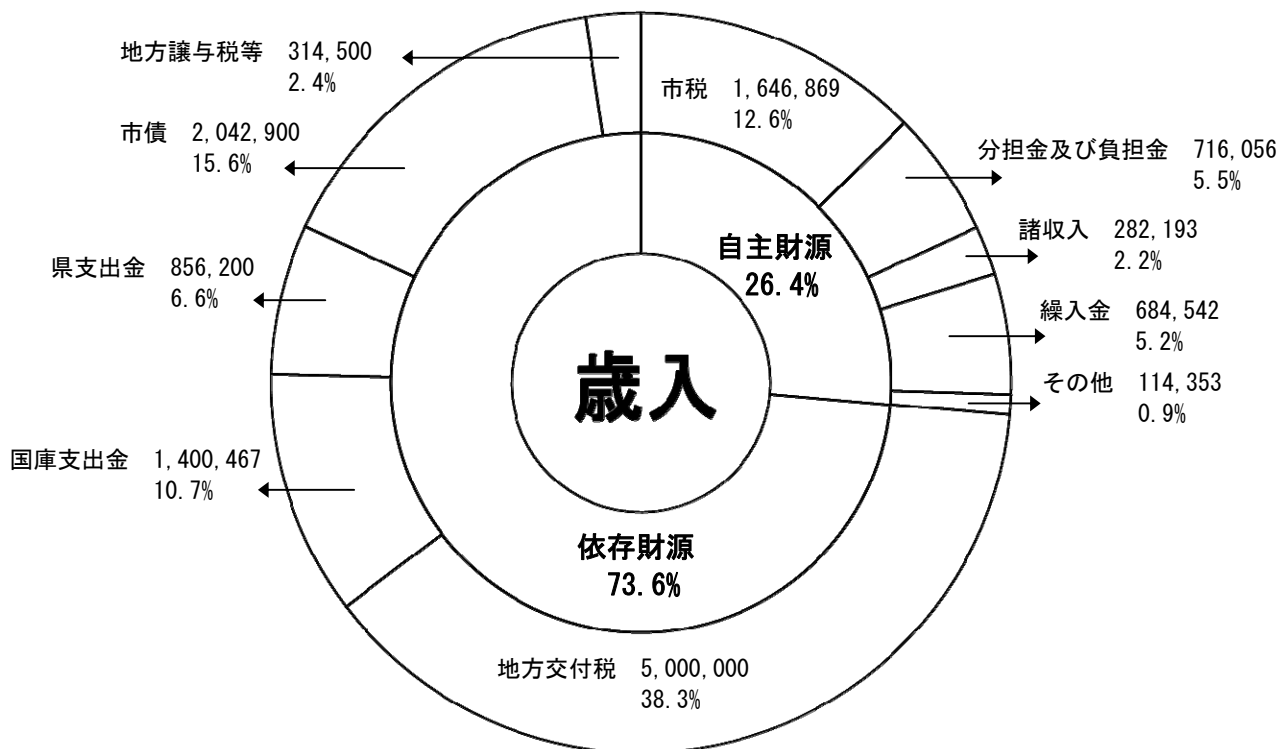
区 分	26年度 A	25年度 B	比 較	
			増減額 A - B	増減率 A/B
災害復旧費を除いた当初予算額	13,016,684	12,316,144	700,540	5.7
国の補正予算を活用し、前年度の最終補正予算で追加する予定の額	70,000	571,584	△ 501,584	△ 87.8
合計（実質的な予算額）	13,086,684	12,887,728	198,956	1.5

一般会計歳入予算の状況

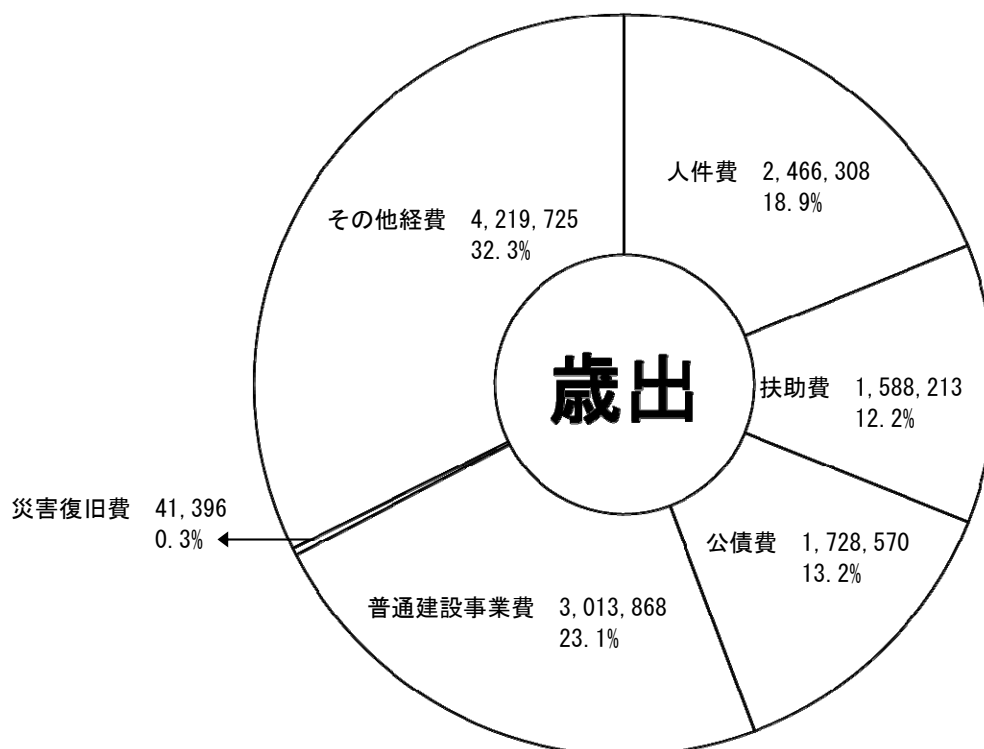
(単位：千円、%)

区 分	26年度当初 A	25年度当初 B	比 較		構成比
			増減額 A - B	増減率 A / B	
市税	1,646,869	1,652,882	△ 6,013	△ 0.4	12.6
地方譲与税等	314,500	315,500	△ 1,000	△ 0.3	2.4
地方交付税	5,000,000	5,000,000	0	0.0	38.3
分担金及び負担金	716,056	489,852	226,204	46.2	5.5
使用料及び手数料	92,939	91,855	1,084	1.2	0.7
国庫支出金	1,400,467	1,405,570	△ 5,103	△ 0.4	10.7
県支出金	856,200	901,735	△ 45,535	△ 5.0	6.6
財産収入	13,714	14,616	△ 902	△ 6.2	0.1
寄附金	2,700	3,317	△ 617	△ 18.6	0.0
繰入金	684,542	789,278	△ 104,736	△ 13.3	5.2
繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.0
諸収入	282,193	274,894	7,299	2.7	2.2
市債	2,042,900	1,783,800	259,100	14.5	15.6
合 計	13,058,080	12,728,299	329,781	2.6	100.0

一般会計歳入予算総額 13,058,080千円



一般会計歳出予算総額 13,058,080千円



平成26年度当初予算(一般会計)について

～集客交流と産業振興、子育て支援と高齢者福祉、防災対策 と生活環境整備 過去最大の「超」大型積極予算～

1. 予算の概要

平成26年度の当初予算は、

- (1) 平成26年度は、熊野古道が世界遺産に登録されて10周年を迎える非常に重要な年であり、また、高速道路開通によって得られるプラスの効果を最大限に生み出すため、これまで取り組んできた産業振興・集客交流の推進などの各施策をさらに強化・発展させます。働く場・雇用の場を創出し、活力を生み出すため、開通後に新たに必要となる施策を洗い出し、積極的に打ち出すこととし、市内で最も大きな組織である市役所自ら、「株式会社熊野市役所」の発想で、リスクを恐れず、前例にとらわれない大胆な発想で、新しい事業に積極的に取り組み、事業者、生産者の皆さんとの連携、支援をより一層強化して、市を挙げて産業振興に取り組めます。
- (2) 過疎化、少子・高齢化が進む中、支え合い、助け合う福祉社会の実現、市民の皆さんの健康づくり、安心して子育てを行うことができる福祉・健康づくり等に力を入れます。
- (3) 全市民が生き抜くための防災対策事業については、前年度に引き続きソフト、ハード面の両面で様々な施策を積極的に予算に盛り込むこととします。また、安全で快適なまちづくりのため、生活環境の整備にも力を入れます。

これらの重要課題に加え、教育・文化など市政の全ての分野における諸課題に的確に対処していくため、総額130億5,808万円の予算編成をしております。国の補正予算を活用した13か月予算においても、平成25年度当初予算と比べて増額となっており、市の人口規模からみて、非常に積極的で超大型の、本市として過去最大の予算編成にしております。

(1) 過去最大だった前年度予算を上回る超大型積極予算

平成26年度当初予算は、熊野古道世界遺産登録10周年と高速道路開通を活かした「集客」と地域資源を活用した「輸出」による産業の振興、高齢者が安心して暮らすことができ、安心して子育てができる熊野市の実現を図る高齢者福祉と子育て支援、東日本大震災と平成23年の紀伊半島大水害の教訓を踏まえた防災対策と安全で快適なまちづくりのための生活環境の整備という3点を中心に、各分野の施策をこれまで以上に力強く前進させ、本市の目指すべき将来像「豊かな自然と歴史の中で人がかがやく、活力と潤いのあるまち・熊野」の実現にむけ、全力を挙げて

取り組みます。

特に、平成26年度は平成16年7月に熊野古道が世界遺産に登録されて10周年となり、高速道路が開通して1年目となることから、集客と市産品の販売アップ、産業振興を図るため、「熊野古道世界遺産登録10周年キャンペーン！」として、様々な事業に市役所全課挙げて取り組んでまいります。

市民の視点・感覚に立った市民本位の行政運営を基本とし、経常的経費などについては、これまで以上に厳しく見直すことはもとより、適正な財源を確保するなど行財政改革の更なる推進に努めます。活動基準原価計算(ABC分析)の実施結果を活用し、職員一人ひとりが業務の効率化、コスト削減を十分に考慮し、前例にとらわれず積極的に事業を見直し、新しい発想でアイデアを生み出し、創意工夫を図ります。

このように編成を行った平成26年度当初予算は130億5,808万円となっており、前年度と比較して3億2,978万1千円の増額となっております。当初予算と国の補正予算を活用した13ヶ月予算から災害復旧費を除いた実質的な予算額においても、過去最大だった前年度を1億9,895万6千円上回っており、平成26年度の予算額は当市として過去最大の予算となります。同程度の人口規模の市と比較しても、約3割増となる超大型の予算です。(参考:全国の人口2万人前後の7市の平成25年度当初予算額の平均は約102億円です。)

新市誕生後は、平成18年度107億5,037万円、平成19年度112億4,738万9千円、平成20年度114億7,722万3千円、平成21年度117億4,484万7千円、平成22年度120億7,701万9千円、平成23年度121億2,718万9千円、平成24年度141億3,844万9千円(災害復旧費を除いた額123億4,634万8千円)、平成25年度127億2,829万9千円と毎年度連続して超大型予算を編成しています。

(2)平成26年度の主な事業

①産業の振興 「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

熊野古道世界遺産登録10周年記念事業として「熊野古道世界遺産登録10周年キャンペーン！」(資料P11～P12)に取り組みます。集客アップ事業を中心に、各種古道ウォークの開催、イベントやセミナー、ライトアップやイルミネーション事業、TV・ラジオ等による集客増のためのPR、観光サイン整備や交通対策等による受け入れ態勢の向上ほか、合計32の事業を実施してまいります。**特産品づくり**では、「新姫」「熊野地鶏」について、「輸出力」の強化に引き続き積極的に取り組みます。**集客・交流**では、ホテル瀨流荘の大規模改修や市の玄関口である駅前トイレの改修に着手するほか、スポーツによる集客をさらに拡大するため、ソフトボールをはじめ野球、ラグビー、ソフトテニス、柔道など各種大会・合宿の一

層の誘致拡大、トレイルランニングレースやビーチ・マリンスポーツフェスティバルなどを実施します。**農業**では、当地域の柑橘を中心とした農作物を関西圏の新興住宅街等に持ち込み販売を行う「営業拠点(アンテナショップ)販売実証事業」、農業者の高齢化や担い手不足に対応するための「集落営農推進事業」などに新たに取り組むほか、獣害対策や地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生産拡大、耕作放棄地解消を目指す「農業公社事業」などに引き続き取り組みます。**水産業**では、遊木漁港、磯崎漁港の基盤整備などを、**豊かな森づくり**では、地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図る「木造住宅建設促進対策「熊野の家」モデルハウス事業」などに新たに取り組みます。**商工業**では、囲碁大会の開催や合宿誘致を図り、那智黒石の郷熊野をPRする「那智黒石振興事業」などを実施します。

②保健・医療・福祉の充実 「支え合い助け合う、健やかにいきいきと暮らせるまち」

高齢者福祉では、憩いのためのサロンを運営する「高齢者サロン事業」に新たに取り組むほか、一人暮らし高齢者世帯等の見守りの強化・推進に一層力を入れていきます。**健康づくり**では、ウォーキングの取り組みと健診、健康に関連した事業への参加に応じて、抽選に応募できる「すいすい はつらつウォーキング事業」を新たに実施します。**少子化・子育て対策**として、子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため「中学生・高校生等医療費助成事業」を引き続き実施するほか、発達支援を要する子どもへの効果的な支援を行う「発達支援を要する子どもへの総合支援システム事業」に新たに取り組みます。**予防・健診**では、不育症治療や風しん予防接種への補助を新たに行うほか、おたふくかぜ、みずぼうそう、ロタウィルスの予防接種やがん検診の推進に積極的に取り組みます。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

学校教育では、「放課後・夏休み学習プラン事業」やいじめを未然に防止するための「いじめ対策事業」などを引き続き実施します。**学校環境の整備**では、紀和町スクールバス運行事業や小・中学校のトイレ洋式化などを新たに実施します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

防災では、「津波避難タワー建設事業(有馬地区)」、校舎窓ガラスに飛散防止フィルムを取り付けする「小・中学校、幼稚園防災機能強化事業」など合計で11の新規事業、3の増額事業に積極的に取り組みます。**市街地の整備**では、山崎運動公園の改修を行うほか、**道路・河川**では、生活に密着した道路の改良事業や維持事業、市内の小規模河川の浚渫などを実施する河川維持管理事業を増額して実施します。**交通体系の整備**では、市街地における交通弱者の不安解消を図り、市街地観光施設等を周遊させる「市街地交通対策推進事業」を引き続き行うほか、紀和町で乗合タ

タクシーを運行する「山間部乗合タクシー運行事業」を新たに実施します。**消防及び廃棄物処理**では、すでに着手している「消防救急デジタル無線・通信指令システム整備事業」、「汚泥再生(し尿)処理センター建設事業」の大型事業を実施します。

⑤「まちづくりの進め方」

楊枝、長尾、大栗須、新鹿、小船の各公民館の修繕事業をおこないます。また、市が行う施策を市民に周知する「市施策等PR事業」、地域資源を活用して、まちづくりを行っている海外の先進地を視察する「まちづくり海外調査団研修事業」を新たに実施します。地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により、防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めるため、「あいさつ運動推進事業」にも引き続き積極的に取り組みます。

2. 歳出予算の特徴

(1) 義務的経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)については、対前年度比3,779万3千円、0.7%増の57億8,309万1千円となっており、予算全体の44.3%を占めています。

人件費につきましては、定年退職予定者の減により職員退職手当が2億827万5千円の減額となるなどの影響により、2億8,327万1千円の減となっています。

扶助費につきましては、臨時福祉給付金支給事業等を新たに行うことなどから、1億7,655万7千円の増となっています。

公債費につきましては、市債償還額が1,880万7千円の増となっており、さらに平成25年度に引き続き将来の財政健全化のため実施する繰上償還が1億3,422万1千円の増となることなどから、トータルで1億4,450万7千円の増の17億2,857万円となります。

(2) 普通建設事業費

普通建設事業費については、新規事業では、有馬地区に整備する「津波避難タワー建設事業」、「ホテル瀨流荘大規模改修整備事業」など、継続事業では、「防災公園整備事業」、「消防救急デジタル無線・通信指令システム整備事業」、「汚泥再生(し尿)処理センター建設事業」などを予算化しています。

トータルでは、30億1,386万8千円(前年度比6億1,906万円増、25.9%増)となっています。

(3) その他経費

義務的経費及び投資的経費を除くその他経費については、消費税増税などの影響により、トータルでは4,368万7千円の増となっています。

(4) 熊野古道世界遺産登録10周年記念事業

(事業費、事業内容についてはP11～P12)

(5) 特色ある新規事業、増額した継続事業

(事業費、事業内容についてはP13～P20)

3. 歳入予算の特徴

(1) 市税

市税については、個人市民税の減などにより、総額で16億4,686万9千円、対前年度比601万3千円、0.4%の減となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税については、国の地方財政計画においては16兆8,855億円、対前年度比1,769億円、1.0%減となっていますが、市においては過去の交付実績を参考に普通交付税については前年度に比べて1億円の増、特別交付税については、1億円の減としています。

その結果、地方交付税は50億円、前年度と同額となっています。

(3) 市債

市債について、建設事業や災害復旧事業などに対しては、事業費の増額により16億7,290万円、対前年度比2億8,910万円、20.9%の増となっております。地方交付税と同様に一般財源として取り扱われる臨時財政対策債については、3億7,000万円、対前年度比3,000万円、7.5%の減となり、市債総額では、20億4,290万円、対前年度比2億5,910万円、14.5%の増となっています。

市債の内容は、合併特例債1億4,140万円、過疎債12億5,940万円、その他6億4,210万円となっています。

この結果、平成26年度末の市債残高見込額は151億8,551万7千円となっています。なお、合併特例債などは元利償還の際に交付税措置がされることから、実質的市債残高は約38億円となっております。

(4) 財政調整基金繰入金

財政調整基金から6億6,280万3千円を財源不足解消のため繰り入れします。

この結果、平成26年度末財政調整基金の残高見込額は24億3,059万1千円となっています。なお、地域振興基金、減債基金などを加えた基金総額では43億7,588万6千円となっています。

熊野古道世界遺産登録10周年記念事業一覧表

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 熊野古道世界遺産登録10周年記念歓迎花火打上事業	12,884	熊野市を花火のまちとしてさらに売り出すために、7月、10～12月の計4回、他のイベントと連携して、熊野古道世界遺産登録10周年記念歓迎花火を打ち上げます。
2 熊野大花火大会記念花火打ち上げ事業	5,000	8月17日に開催予定の熊野大花火大会に世界遺産登録10周年記念花火を打ち上げます。
3 いこらい市うまいもんフェア開催事業	4,559	記念通りや本町通り等において、9月からの計7回食のイベントを開催し、うち2回はコンテストを実施します。
4 熊野井フェア事業	1,306	熊野市を訪れた観光客のおもてなしアップのため、宿泊施設、飲食店において井のキャンペーンを行います。
5 ステージイベント開催事業	2,351	世界遺産登録10周年に合わせて、ステージイベントを開催します。
6 物産展開催事業	160	世界遺産登録10周年に合わせて開催されるステージイベント周辺で、物産展を開催します。
7 熊野古道魅力アップツアー事業	2,324	市外の方を対象に、熊野古道のほか沿線地域の自然、歴史、文化、食べ物などの魅力を探るツアーを実施します。
8 熊野古道よみがえりウェルネスツアーIN熊野開催事業	481	熊野古道ウォーキングと市内観光、健康メニューを組み合わせたツアーを実施します。運動前後での血圧、血糖測定の実施とヘルシーメニューの提供、運動面では年齢に関係なく、安全で、膝の痛み等がある人でも運動がしやすく、今話題となっているノルディックウォークを取り入れます。
9 熊野古道「歩く婚活」開催事業	500	熊野古道ウォークを利用した婚活事業を実施します。
10 熊野の魅力再発見！懐かし面白展開催事業	1,925	歴史民俗資料館や市民の方が所有している熊野の懐かしい資料や熊野古道にちなんだ貴重で面白い資料を市民会館や文化交流センター等で一定期間展示します。
11 都市と過疎地域における誘客交流推進事業	2,488	都市部からの誘客周遊及び地域住民との交流を図るため、誘客・周遊拠点施設におけるおもてなしの実施、周遊を促進するためのレンタサイクルの充実などを行います。
12 錦の御幡献上行列事業	2,000	平成24年に復活させた錦の御幡献上行列を実施し、熊野古道周辺のPRや観光客の集客力アップを図ります。
13 カメラ女子ツアー開催事業	737	近年増加しているカメラ女子を対象とした熊野古道を題材としたツアーを開催します。
14 記念緑化大会IN熊野	1,000	世界遺産熊野古道松本峠沿いの未植栽森林に桜モミジを植栽し、彩りある熊野古道を多くの県民、市民の協力でつくりあげ、古道の森を身近に感じていただきます。
15 丸山千枚田の虫おくり・世界遺産登録10周年記念花火打上事業	500	熊野古道世界遺産登録10周年を記念して、「丸山千枚田の虫おくり」のフィナーレとして北山砲と花火を打ち上げます。
16 熊野古道謎解きアドベンチャー事業	2,903	熊野古道を楽しく周遊する仕掛けとして謎解きイベントを実施します。

事業名	事業費	事業内容
17 全国鬼サミット開催事業	2,410	「鬼伝説」や「鬼芸能」を持つ全国の関係者が一堂に集い、「鬼」という共有の地域個性を再確認するとともに、相互交流を深め情報発信を行います。
18 「記紀と熊野」シンポジウム開催事業	350	10周年記念事業として、世界遺産「花の窟」と古事記・日本書紀にまつわるシンポジウムとミニツアーを開催します。
19 集客ライトアップ事業	708	獅子岩、花の窟のライトアップを行い、集客につなげます。
20 きらめきストリート事業	4,900	文化交流センター、駅前、記念通り、松原通りなどを東紀州最大の30万球のLED電球で飾り付けします。
21 熊野市メディア広告事業	21,000	世界遺産登録10周年などをテレビ・ラジオで大々的にPRするほか、熊野市の特産品のCMを放送します。
22 歓迎ポスター等作成事業	2,253	観光ポスターやパンフレット、キャンペーン関連のイベントを一覧にしたカレンダーを作成します。
23 バッジ着用事業	416	キャンペーンバッジを作り、各種店舗の従業員につけてもらい、事業PRを図ります。
24 観光サイン整備事業	50,204	国道42号沿いに交通案内標識や電光掲示板を設置するほか、熊野古道の石柱標識を整備します。
25 観光コース作成・PR事業	500	25年度に整備された二次交通体制を取り込んで、熊野古道各峠の観光コースを設定し、PRします。また、市内の様々な名所、旧跡などを細かく掲載して、ちょっと「通」に受ける熊野を目指します。
26 観光案内スマホ活用事業	1,066	スマートフォンアプリを活用して観光情報を発信します。また、英語、中国語の対応も可能にします。
27 観光タクシー事業	133	観光に関する研修を行って、観光案内のできるタクシーを整備します。
28 観光遊覧・ブルーツーリズム集客促進事業	498	観光公社の観光メニューである観光遊覧とブルーツーリズムをPRし、集客を図ります。
29 熊野市観光アンバサダー推進事業	966	国内に居住している外国人や留学生を活用して、熊野古道を中心とした熊野市の観光資源の情報発信を行います。
30 熊野古道客に対する2次交通確保対策事業	6,028	熊野古道客に対する2次交通の確保を図るためのシャトルバスを運行します。
31 熊野古道現地研修事業	20	職員が熊野古道をより具体的に説明できるように、現地研修を行います。
32 熊野古道世界遺産登録10周年記念提案事業	2,000	熊野古道世界遺産登録10周年を記念して事業を公募し、提案いただいた事業の中で面白いものや効果的なものを選択し、官民連携で実施します。
総計 32事業	134,570	

特色ある新規事業

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
集客・交流		
1 ホテル瀨流荘大規模改修整備事業	30,311	奥瀨道路の完成や国道311号の改良を見越し、熊野市の西の玄関口としての役割を充実させるため、建設から23年が経過して老朽化が進んでいるホテル瀨流荘の大規模改修及び増築を行います。平成26年度は設計業務を行います。
2 市駅前公衆トイレ改修事業	6,000	老朽化が進んでいる市駅前のトイレを改修して、観光客の受入態勢の向上を図ります。
3 地域おこし協力隊観光振興事業	7,405	外部からの新しい視点で市内の観光資源を活用した地域活性化を図ります。民泊の整備推進、体験ツアーの企画・立案、みやげもの開発等を行います。
4 全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会開催事業	4,600	全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会を開催するための経費に対し補助を行います。
5 ビーチ・マリンフェスティバル in 新鹿開催事業	1,200	熊野の雄大な自然、地形を活用したマリンスポーツを推進し、シーズンにとらわれない一年を通じたスポーツ集客を創出するため、ビーチ・マリンスポーツフェスティバルin新鹿を開催するための経費に対し補助を行います。
6 トレイルランニングレース開催事業(50キロコース新設)	800	ランニングブームのなか、山道などを走るトレイルランニングが関東地方を中心に爆発的に人口を増やしているため、25年度に開催した30キロコースに加え、50キロコースを新設してトレイルランニング大会を開催し、全国からの集客を図ります。
7 ロングトレイル整備事業	1,353	50キロコース新設のトレイルランニングレースを開催するため、紀和町の板屋商店街や瀨流荘を含むトレッキングコースを新たに整備します。
農業		
8 集落営農推進事業	209	農業者の高齢化や担い手不足に対応するため、飛鳥地区において、集落営農組織の設立を図り、将来に向けて持続性のある経営体を育成します。
9 営業拠点(アンテナショップ)販売実証事業	1,891	当地域の柑橘などの農作物を中心にニーズの高い商品を選抜し、関西圏の新興住宅街等に軽トラックにより持ち込み販売を行います。
10 農業者トライアルショップ事業	10	誘客周遊拠点施設を活用して農作物を直接販売したいという生産者に一定期間を無償貸し付けすることにより、商売感覚を養っていただき積極的な起業を促します。
林業・豊かな森づくり		
11 木造住宅建設促進対策「熊野の家」モデルハウス事業	17,270	地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図るため、熊野材を使用した住宅建築者にレインボー商品券の購入を助成します。また、「熊野の家」モデルハウスとして開放していただいた方にレインボー商品券を増額します。
12 身近なみどり整備推進事業	1,469	住民生活に支障をきたす危険木の伐採に対する支援を行います。
水産業		
13 水産物供給基盤機能保全事業	8,000	遊木漁港施設の機能保全を行うために必要な機能保全計画の策定を行います。
14 遊木漁港機能強化事業	52,501	遊木漁港内の主要な岸壁、防波堤等について、耐震診断に基づき地震・津波対策工事を行います。

事業名	事業費	事業内容
15 磯崎漁港改良事業	11,801	磯崎漁港の泊地へ土砂が堆積し、漁船の係留、航行に支障をきたしていることから、浚渫工事を行います。また、陥没した物揚場等の改良工事を行い、漁業者をはじめとした関係者が安全、安心に漁業活動ができるようにします。
16 遊木漁港改良事業	4,500	遊木漁港内の物揚場に係船環を設置するほか、岸壁に梯子、新市場への入り口に門扉を設置し、漁業者をはじめとした関係者が安全、安心に漁業活動ができるようにします。
17 地域おこし協力隊漁業後継者育成事業	4,003	I・Jターン者を受け入れ、一本釣り漁などの個人漁家経営者のもとで修業を行ってもらい、新たな漁業者を確保します。
商工業		
18 首都圏営業拠点「三重テラス」活用事業	1,138	三重県が平成25年夏に東京日本橋に開設した首都圏営業拠点「三重テラス」において、熊野フェアを開催してPRを実施します。
19 那智黒石振興事業	1,730	宮崎県日向市の蛤碁石と熊野市の那智黒石のPRを、東京にある宮崎県アンテナショップ「新宿みやざき館」と三重県アンテナショップ「三重テラス」にて共同開催することで、両市の特産品の知名度の向上を図ります。また、日本棋院三重県支部連合会が主催する「囲碁の祭典」と「紀州熊野地区囲碁大会」を熊野で同時開催し、那智黒石の郷、熊野市をPRするとともに、合宿も誘致して、県内外から多数の囲碁愛好家に来ていただき、宿泊客の増加につなげます。
小計 19事業	156,191	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者福祉		
1 高齢者サロン事業	611	高齢者による高齢者のための憩いのサロンを運営、開催し、高齢者に外出する楽しさを提供します。
2 高齢者福祉計画策定事業	47	高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置が講じられるよう、地域における高齢者を対象とする福祉サービス全般にわたる供給体制を確保するために高齢者福祉計画を策定します。
予防・健診		
3 高齢者のための転倒・寝たきり予防プログラム事業	6	紀和町B&G海洋センターで、チェアエクササイズなどの運動を行い、健康づくりを図っていきます。
4 不育症治療費補助事業	200	不育症治療費に要する費用の一部を補助し、不育症治療を受けた方の経済的負担を軽減します。
5 風しん予防接種助成事業	300	妊娠を希望する女性または家族に対し、風しん予防接種費用の一部を助成します。
健康づくり		
6 すいすい はつらつウォーキング事業	1,000	チームで楽しみながらウォーキングや健康づくりに取り組み、その結果や取組内容によって表彰します。楽しみながらウォーキングや健康づくり事業に参加することで、主体的な健康づくりを支援し、健康づくりの習慣と関心を高めます。
7 健康づくり社会基盤整備事業	500	人通りの多い市道や山崎運動公園園路に歩行距離を明示して、健康づくりの意識高揚を図ります。
少子化・子育て対策		
8 発達支援を要する子どもへの総合支援システム事業	5,952	保健、福祉、教育の3部局が連携して「(仮称)こども発達支援室」を福祉事務所内に新設して、支援を必要とする子どもに対して効果的な支援を行います。

事業名	事業費	事業内容
9 子ども・子育て支援計画策定事業	107	平成27年度から始まる、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図ることを目的として、「子ども・子育て支援計画」を策定します。
10 子育て世帯臨時給付金事業	18,444	平成26年4月からの消費税引き上げに際し、子育て世帯に対し、現金を給付します。
生活支援		
11 臨時福祉給付金支給事業	181,905	平成26年4月からの消費税引上げに際し、低所得者に対し、現金を給付します。
小計 11事業	209,072	
3 教育・文化の振興		
学校環境の整備		
1 紀和町スクールバス運行事業	13,100	遠距離通学する生徒の通学の安全を確保するため、入鹿小中学校及び熊野川小中学校へ通う生徒のためにスクールバスを運行します。
2 小・中学校トイレ洋式化事業	11,500	井戸・有馬・飛鳥小学校、木本・五郷中学校のトイレ洋式化を行います。
3 神上小・中学校パソコン室エアコン設置事業	150	神上小・中学校のパソコン室にエアコンを設置します。
4 木本中学校吹奏楽用楽器購入事業	1,090	木本中学校に吹奏楽用楽器(ティンパニー)を購入します。
文化芸術		
5 図書館図書システム更新事業	44,737	図書館を引き続き快適に利用していただくため、図書館の情報システム、貸出システムの更新を行います。
生涯スポーツ		
6 大紀町スイミングクラブとの子ども交流水泳教室事業	63	全国ジュニアチャンピオンを有する大紀町スイミングクラブのコーチ、子どもたちを招いての交流水泳教室を開催して、地元熊野市の子どもたちとの交流を図ります。
小計 6事業	70,640	
4 生活環境の整備		
防災		
1 津波避難タワー建設事業	153,000	近隣に高台などが無い地域の住民の生命を守り、身体の安全を確保するため、有馬町芝園地区、志原尻地区に津波避難タワーを建設します。
2 災害時安否確認「黄色いハンカチ」作成事業	1	大災害直後の安否確認のため、家にいる家族が全員無事だった場合に玄関先等に黄色いハンカチを掛ける取組を広め、安否確認を迅速にできるようにします。
3 避難所運営マニュアル作成・運営モデル事業	1	地域の実情と特性に応じた避難所運営マニュアルを地域住民が主体となって作成し、地域主体で円滑な運営ができるようにします。
4 防災対策介護予防健康体操事業	1	ゴムバンドを使った健康体操を遊木町で実施し、「自助」「互助」による円滑な避難所運営ができる地域づくりを目指します。
5 新鹿海水浴場津波避難訓練事業	70	津波避難訓練を実施し、海水浴客や関係者の防災意識の向上を図ります。

事業名	事業費	事業内容
6 被災者建築物応急危険度判定事業	206	地震によって被害を受けた建築物の危険性を速やかに判定して情報提供するため、職員の資格取得を行ったり、判定ステッカーを購入し、大規模災害に備えます。
7 特設公衆電話事前設置事業	920	災害発生時に速やかに通話手段を確保するため、屋内避難場所に特設公衆電話回線の事前設置を行います。
8 アマチュア無線整備事業	1,200	出張所にアマチュア無線を配備します。
9 防災啓発指導員事業	6,050	防災啓発指導員を配置し、耐震診断・家具転倒防止の啓発・受付をはじめ、家具転倒防止器具の取り付けなどを行います。
10 小・中学校、幼稚園防災機能強化事業	15,227	小学校・中学校、幼稚園の校舎窓ガラスにガラス飛散防止フィルムを取り付けて、防災機能を強化し、児童の安全確保を図ります。
11 有馬第1公民館屋外階段設置事業	9,300	有馬町芝園の有馬第1公民館に津波避難用の屋外階段を設置します。
消防		
12 資機材運搬車購入事業	5,231	災害時などに緊急走行が可能な資機材運搬車(消防用トラック)を購入し、消防力の充実強化につなげます。
13 消防水利施設整備事業	4,200	金山駐在所前の防火水槽を整備します。
市街地の整備		
14 山崎運動公園改修事業	3,720	山崎運動公園の多目的グラウンドのアンツーカー改修や案内看板の設置などを実施して、市民の利用促進、スポーツ集客の拡大につなげます。
道路		
15 道路防災点検事業	3,000	適切な道路管理を行うため、道路の点検を実施し、今後の計画的な災害防除対策の実施に向けた基礎資料を作成します。
交通体系		
16 山間部乗合タクシー運行事業	7,700	山間部における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るため、紀和町で乗合タクシーを運行します。
17 電気自動車充電設備設置事業	10,150	電気自動車等に対応した急速充電設備を設置し、観光客等の利便性向上を図ります。
小計 17事業	219,977	
5 まちづくりの進め方		
1 市施策等PR事業	1,601	市が行う施策等を市民に周知することで、事業への理解を深めます。
2 楊枝公民館修繕事業	202	楊枝区が所有する公民館のエアコン設置費の一部を補助します。
3 長尾公民館修繕事業	156	長尾区が所有する公民館の屋根、壁の塗装費用の一部を補助します。
4 大栗須公民館修繕事業	530	大栗須区が所有する公民館のシロアリ駆除及び改修費用の一部を補助します。

事業名	事業費	事業内容
5 新鹿公民館資材持ち出し口進入路整備事業	75	新鹿公民館の資材持ち出し口への進入路の整備のため、原材料を支給します。
6 小船集会所駐車場進入路整備事業	139	小船集会所の駐車場入り口整備の原材料を支給します。
7 まちづくり海外調査団研修事業	3,546	地域資源を活用して、まちづくりを行っている海外の先進地を視察し、今後のまちづくりの発展につなげます。
小計 7事業	6,249	
総計 60事業	662,129	

増額した継続事業

事業費の()は平成25年度当初予算額

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
集客・交流		
1 熊遊戦隊イコライジャーステージ事業	2,437 (1,915)	市内、市外のイベントなどで熊野古道をテーマとして、熊遊戦隊イコライジャーステージを行います。また、新たに3体のヒーロー及び敵ボスの衣装制作を行います。
2 熊野古道シャトルバス運行事業	1,765 (1,556)	中京圏から熊野古道伊勢路への古道客誘致のために運行されている「熊野古道シャトルバス」への運営費の一部を負担します。
3 サイクルデイ in 熊野開催事業	1,400 (783)	紀和町の赤木城をメイン会場として、一流選手等を講師に迎え、大学生や高校生を対象に実技指導や練習方法等を中心とした自転車競技のクリニック(研修)を行います。
農業		
4 地域おこし協力隊農業支援事業	7,811 (7,254)	農業従事者の高齢化や担い手不足により、たかな等の特産品についても生産量が減少傾向にあるため、新たな担い手を確保して、耕作放棄地の解消、特産品の安定生産につなげます。
林業・豊かな森づくり		
5 有害鳥獣駆除事業	10,935 (6,945)	鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。また、26年度はアライグマ、ハクビシンの買上を試行的に行います。
6 森林環境創造事業	31,000 (30,000)	環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。
小計 6事業	55,348 (48,453)	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者福祉		
1 食の自立支援事業	6,517 (6,319)	在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。
2 元気づくり推進員育成事業	1,146 (927)	元気づくり推進員を育成し、健康診査やがん検診の推進、健康づくり事業のPRを行います。地域に密着した健康づくりを実施することで、市民の健康への意識を高めます。
3 集落支援事業	9,111 (3,868)	集落支援員を設置し、過疎集落等における住民同士による高齢者の見守り活動や、草刈、清掃等の生活環境維持の支援を行います。
健康づくり		
4 がん検診事業	15,392 (14,320)	がんの早期発見、早期治療を図るため、集団(検診車)、個別(医療機関)によるがん健診を行います。
少子化・子育て対策		
5 予防接種事業	45,868 (29,259)	予防接種法、結核予防法に基づき、四種混合、三種混合、BCG、二種混合、日本脳炎小児肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ等の予防接種を行います。

事業名	事業費	事業内容
6 中学生・高校生等医療費助成事業	10,879 (6,992)	子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため、医療費の助成を中学生、高校生等まで拡大します。中学生は医療費の自己負担を無料に、高校生等(18歳の年度末まで)は医療費の自己負担を現在の3分の1とします。
7 障がい児通所支援事業	33,158 (10,485)	障がい児を持った子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行います。
小計 7事業	122,071 (72,170)	
3 教育・文化の振興		
学校教育		
1 夏休み学習プラン事業	504 (360)	市内小学校5校を対象に、夏休みに20日間の学習会を開催し、学力向上を図ります。また、26年度から、市民会館等でも学習会を開催します。
2 放課後学習プラン事業	1,288 (910)	市内小学校5校を対象に、放課後2時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。
3 外国語指導助手(ALT)配置事業	17,495 (15,067)	外国語指導助手(ALT)を3名体制とし、市内小・中学校の児童・生徒と総合的な学習の時間、英語の時間等において交流、学習を行うことにより、英語教育を充実します。
4 いじめ対策事業	491 (442)	いじめを未然に防止するために学級満足度調査(QU調査)を実施して、学級の中での子どもたちの人間関係を明らかにし、課題を解決するため適切な指導を行います。
文化芸術		
5 紀和鉱山資料館体験学習事業	132 (12)	鉱山ズリ場や坑道での体験学習事業を引き続き実施するほか、新たにクレイ(粘土状の鉱石)の美容効果の講演会や体験事業、熊野の石に描いた「金魚絵」の展示会などを行い、鉱山への関心を深め、資料館の魅力発信につなげます。
生涯スポーツ		
6 水泳教室事業	235 (123)	大人と子どもを対象とした初級者水泳教室を夜間に開催します。
7 くまの総合型地域スポーツクラブ運営事業	1,531 (1,231)	国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもから高齢者、障がいのある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。また、26年度は小中学校女子ソフトボールチーム設立を目指します。
人権の尊重		
8 男女共同参画推進事業	328 (132)	男女共同参画の普及のために各種啓発活動を行います。また、東紀州5市町で連携し、持ち回りで映画を上映します。平成26年度は熊野市で映画を開催いたします。
地域間交流		
9 他地域交流検討事業	750 (347)	宮崎県日向市とは、碁石(那智黒石とハマグリ)や神武天皇東征の出発地と到着地などつながりがあることから、友好都市の実現を視野に入れた各種交流事業を行います。
小計 9事業	22,754 (18,624)	
4 生活環境の整備		
防災		
1 災害時要援護者対策けん引式車いす補助装置貸与事業	1,826 (1,200)	地震・津波時に備えて、津波浸水予測地域内(須野町～久生屋町)に居住している車いすを利用している方にけん引車いす補助装置を無償で貸与します。

事業名	事業費	事業内容
2 防災公園整備事業	157,500 (37,800)	オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、室内練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成26年度は敷地の造成工事等を行います。
3 急傾斜地崩壊対策事業	8,000 (4,100)	甫母地区外3地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。
消防		
4 消防救急デジタル無線・通信指令システム整備事業	517,012 (14,442)	消防救急無線をデジタル化し、消防署内の通信指令システムを更新し、消防力の充実強化につなげます。
道路		
5 社会資本整備総合交付金事業	73,500 (43,972)	地域住民の生活環境の向上を図るため、平成26年度は、深山神社3号線、鬼ヶ城西口線、瀬線の改良事業を実施します。
6 道路新設改良事業	40,000 (33,500)	市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。
7 道路維持事業	80,000 (65,000)	市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。
河川		
8 河川維持管理事業	7,850 (1,850)	土地・建物などを災害から守るため、河川の堆積土砂の撤去や河川整備を行います。
環境保全		
9 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業	793,020 (266,331)	耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターの27年度までの完成を目指し、工事を継続します。
環境保全		
10 緑のカーテン運動推進事業	300 (268)	地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。
小計 10事業	1,679,008 (468,463)	
5 まちづくりの進め方		
1 地域おこし協力隊等事業	24,318 (22,876)	各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を配置し、集落機能の強化を図ります。
2 「美し国おこし・三重」支援事業	962 (806)	地域の多様な主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して取り組む地域づくり活動について、立ち上げ段階での財政的支援並びに人材育成及び活動への助言等の支援を行います。
3 職員研修事業	4,000 (2,055)	コーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。また、民間企業の業務効率化等の先進的な取り組みの中で、地方自治体として取り入れるべき点を学んで、効率的・効果的な行政システムの推進を図ります。
小計 3事業	29,280 (25,737)	
総計 35事業	1,908,461 (633,447)	

平成26年度一般会計当初予算の主な内容

事業費の()は平成25年度当初予算額

①産業の振興

「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

1 集客交流の推進

(1)観光業

(ア)熊野古道世界遺産登録10周年記念事業

(新規) 熊野古道世界遺産登録10周年キャンペーン! 【全課】1億3,457万円

平成16年7月に世界遺産登録された熊野古道の10周年を活用して、集客アップ、産業振興を図るため、各種イベントなどに市役所全課挙げて取り組みます。当市の豊かな自然・歴史・文化等の魅力を大いにPRするための各種ツアーの実施や記念花火打上、うまいもんフェアなどの集客アップ事業、展示会・セミナー等の開催、10周年を迎える7月に行うステージイベント、獅子岩・花の窟のライトアップ、駅前周辺などの市街地のイルミネーション、TV・ラジオ等による集客増のためのPR、観光サインの整備や交通対策等の受け入れ態勢の向上、そして、市民に登録10周年の事業を公募して実施する提案事業など全部で32の事業を行います。(P11~12)

(イ)高速道路開通記念事業

(継続) 高速道路開通記念事業【総務課】65万円

平成25年度に実施した高速道路開通記念事業のうち、カークラブ招待事業を平成26年6月までの期間の間に実施します。

(ウ)受入態勢の向上

(新規) ホテル瀨流荘大規模改修整備事業【地域振興課】3,031万1千円

奥瀨道路の完成や国道311号の改良を見越し、熊野市の西の玄関口としての役割を充実させるため、建設から23年が経過して老朽化が進んでいるホテル瀨流荘の大規模改修及び増築を行います。平成26年度は設計業務を行います。

(新規) 市駅前公衆トイレ改修事業【観光スポーツ交流課】600万円

老朽化が進んでいる市駅前のトイレを改修して、観光客の受入態勢の向上を図ります。

(継続) 湯ノ口温泉施設周辺整備事業【地域振興課】371万2千円

老朽化が進んでいる湯元山荘湯ノ口温泉の本館の建て替えを現在進めており、備品等

の購入を行います。

(継続) 熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進事業【観光スポーツ交流課】 17万6千円
市内の観光施設運営者、宿泊業者、運輸業者、旅行業者等の参画による熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進会議を設置し、観光客の集客向上に向けた取組みを行います。

(継続) 特産品活用名物料理創作事業【観光スポーツ交流課】 20万円
来訪者にまた来たいと思っただけけるよう、熊野地鶏、新姫など地元特産品を活用した名物料理を創作します。

(エ)観光地としての魅力創造

(増額) 熊遊戦隊イコライジャーステージ事業【地域振興課】 243万7千円(191万5千円)
市内、市外のイベントなどで熊野古道をテーマとして、熊遊戦隊イコライジャーのステージを行います。また、新たに3体のヒーロー及び敵ボスの衣装制作を行います。

(継続) 観光大使事業【観光スポーツ交流課】 45万8千円
熊野市にゆかりがあつて、観光業などに精通した方々に観光大使になっていただき、熊野市の魅力、良さを国内外にPRしてもらいます。また、観光大使のアドバイスを今後の観光施策に反映します。

(継続) 徐福の里魅力向上事業【観光スポーツ交流課】 47万円
徐福伝説を活用し、波田須周辺の地域資源の魅力を高め「徐福の里」波田須を国内外に発信します。

(継続) 道の駅ガイドマップ情報発信事業【観光スポーツ交流課】 37万8千円
中部圏約120箇所の道の駅に配布されるガイドマップに熊野市の観光情報を広告掲載し、自動車を利用する観光客の誘客を図ります。

(オ)体験型観光の促進

(新規) 地域おこし協力隊観光振興事業【観光スポーツ交流課】 740万5千円
外部からの新しい視点で市内の観光資源を活用した地域活性化を図ります。民泊の整備推進、体験ツアーの企画・立案、みやげもの開発等を行います。

(継続) 観光公社事業【観光スポーツ交流課】 1,570万4千円
熊野古道を核として地域の観光資源を組み合わせた旅行や体験プログラムの企画や実施、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などのほか、滞在型の観光を推進することにより、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。また、宿泊施設や食の面で指導的立場をとり、観光客の受入態勢の向上を図ります。

(継続) 丸山千枚田虫おくり支援事業【地域振興課】 27万円

丸山千枚田の虫おくり実行委員会が主催する「丸山千枚田の虫おくり」に対し支援を行います。

(カ)集客交流の促進

(継続) 都市農村交流推進事業【農業振興課】 216万8千円

都市住民と集落の都市農村交流を促進させ活性化につなげます。また、百貨店での地域物産展への出展や相模女子大学の大学祭への参加を行い、当市の特産品を販売します。

(継続) 熊野古道積極活用推進事業【観光スポーツ交流課】 129万8千円

熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成等を行います。

(継続) 紀南中核的交流施設整備事業【市長公室】 2,535万5千円

滞在型の集客交流施設の整備を行う(株)エムアンドエムサービスに対し支援を行います。

(継続) 小船梅まつり・小森桜まつり・火祭り・ふるさとまつり開催事業

【地域振興課】 420万円

地域の活性化と地域振興のため、伝統あるまつりを継続して実施します。

(継続) 観光イベント開催事業【観光スポーツ交流課】 295万円

各種観光イベント事業に対し、事業費の一部を支援することによってイベントの充実を図り、観光地としての宣伝活動及び観光客の誘致を行います。

(キ)観光客の利便性向上

(増額) 熊野古道シャトルバス運行事業【観光スポーツ交流課】

176万5千円(155万6千円)

中京圏から熊野古道伊勢路への古道客誘致のために運行されている「熊野古道シャトルバス」への運営費の一部を負担します。

(2) スポーツによる集客交流

(ア) 大会・合宿誘致

(新規) 全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会開催事業

【観光スポーツ交流課】 460万円

全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会を開催するための経費に対し補助を行います。

(新規) ビーチ・マリンスポーツフェスティバル in 新鹿開催事業【観光スポーツ交流課】 120万円

熊野の雄大な自然、地形を活用したマリンスポーツを推進し、シーズンにとらわれない一年を通じたスポーツ集客を創出するため、ビーチ・マリンスポーツフェスティバルin新鹿を開催するための経費に対し補助を行います。

(新規) トレイルランニングレース開催事業(50キロコース新設)【地域振興課】 80万円

ランニングブームのなか、山道などを走るトレイルランニングが関東地方を中心に爆発的に人口を増やしているため、25年度に開催した30キロコースに加え、50キロコースを新設してトレイルランニング大会を開催し、全国からの集客を図ります。

(新規) ロングトレイル整備事業【地域振興課】 135万3千円

50キロコース新設のトレイルランニングレースを開催するため、紀和町の板屋商店街や瀬流荘を含むトレッキングコースを新たに整備します。

(増額) サイクルデイ in 熊野開催事業【観光スポーツ交流課】 140万円(78万3千円)

紀和町の赤木城をメイン会場として、一流選手等を講師に迎え、大学生や高校生を対象に実技指導や練習方法等を中心とした自転車競技のクリニック(研修)を行います。

(継続) スポーツフェスティバル開催事業【観光スポーツ交流課】 1,074万3千円

ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。

(継続) 還暦野球熊野大会開催事業【観光スポーツ交流課】 60万円

山崎運動公園くまのスタジアム等で、還暦の部16チーム、古希の部4チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客効果の増大を図ります。

(継続) 紀伊半島グラウンドゴルフ大会開催事業【観光スポーツ交流課】 5万円

平成26年5月に紀伊半島グラウンドゴルフ大会を開催し、地域の活性化、観光客誘致による集客の拡大を進めます。

(継続) 紀伊半島寿野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 100万円

三重・和歌山・奈良3県等からの参加チームにより寿野球大会を開催し、都市間の交流を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 熊野学童軟式野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 50万円

学童軟式野球大会を開催し、他地域からの集客を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 紀伊半島ビーチバレーボールフェスタ開催事業【観光スポーツ交流課】 15万円
平成25年7月に新鹿海水浴場において紀伊半島ビーチバレーボールフェスタを開催することにより、海のまち「新鹿」をPRし、ビーチバレーを通じて集客の拡大、地域の活性化を図ります。

2 商工（鉱）業の振興

(1) 商業

(ア) 販売・輸出の強化

(新規) 首都圏営業拠点「三重テラス」活用事業【水産・商工振興課】 113万8千円

三重県が平成25年夏に東京日本橋に開設した首都圏営業拠点「三重テラス」において、熊野フェアを開催してPRを実施します。

(新規) 那智黒石振興事業【水産・商工振興課】 173万円

宮崎県日向市の蛤碁石と熊野市の那智黒石のPRを、東京にある宮崎県アンテナショップ「新宿みやざき館」と三重県アンテナショップ「三重テラス」にて共同開催することで、両市の特産品の知名度の向上を図ります。また、日本棋院三重県支部連合会が主催する「囲碁の祭典」と「紀州熊野地区囲碁大会」を熊野で同時開催し、那智黒石の郷、熊野市をPRするとともに、合宿も誘致して、県内外から多数の囲碁愛好家に来ていただき、宿泊客の増加につなげます。

(継続) 物産展開催事業【水産・商工振興課】 27万円

市外への輸出を促進するため、物産展、商品展示会等へ参加し、バイヤーとの連携強化を行います。

(イ) 中小小売業の活性化

(継続) 小規模事業者振興資金利子補給事業【水産・商工振興課】 518万円

高速道路開通により、もてなしアップの改善やこの機会に事業規模の拡大や新規の創業を考えている市内事業者に対して、そのリスクを軽減するため、事業者が日本政策金融公庫の経営改善貸付制度及び三重県小規模事業者資金制度を活用して融資を受けた場合に、その利息の一部を補助します。

(継続) きのもと商いPR支援事業【水産・商工振興課】 61万6千円

熊野市商店連合会が本町通、記念通り商店街などに呼びかけて実施する百円市や一店逸品活動などのPR費用を支援し、個々の商店主が独自の発想で自己商品の販売戦略を考え魅力ある店作りに努めることを支援します。

(継続) 若者起業支援・チャレンジショップ支援事業【水産・商工振興課】 129万円
市内の商店街等における空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内で最高2年間補助します。

(継続) 記念通り商店街活性化事業【水産・商工振興課】 208万7千円
住民の憩いの場として利用されている「いこらい広場」を様々な人が利用できるスペースとして活用します。また、毎月「いこらい市」を開催します。

(継続) 若者起業支援・融資助成事業【水産・商工振興課】 75万円
若者が市内で起業する際、金融機関から起業のために融資を受ける場合において、利子の一部(融資金額の3%・補助対象融資限度額500万円、補助上限15万円)に対して補助を行います。

(2)工(鉦)業

(ア)新たな製品の創造

(継続) 新規特産品開発事業【水産・商工振興課】 377万4千円
市外への輸出による産業振興を図るため、新たな特産品の開発を図ります。

(3)就業機会・人材育成

(ア)雇用機会の拡大

(継続) 東紀州雇用実践支援強化事業【水産・商工振興課】 10万円
事業者の経営能力の増強や新たな販路開拓を行うため、事業者の地域外研修を行います。

(イ)人材育成

(継続) 人材育成支援事業【水産・商工振興課】 100万円
就業機会の拡大と市内での新たな職種の起業を促進するため、起業を志す市内居住者などが新たに知識、技術を習得するために必要な経費を融資します。

3 農林水産業の振興

(1)農 業

(ア)農業者の確保・育成対策

(増額) 地域おこし協力隊農業支援事業【農業振興課】781万1千円(725万4千円)

農業従事者の高齢化や担い手不足により、たかな等の特産品についても生産量が減少傾向にあるため、新たな担い手を確保して、耕作放棄地の解消、特産品の安定生産につなげます。

(継続) 新規就農者確保事業【農業振興課】588万1千円

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保するため補助金を交付します。

(継続) 農業公社事業【農業振興課】1,068万2千円

施設野菜等を志す方にふるさと公社の研修施設及び圃場において、2年間研修生として、生産技術や経営管理を学んでいただき、地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生産拡大、耕作放棄地解消を目指します。

(継続) 経営所得安定対策推進事業【農業振興課】240万7千円

農業者の「経営所得安定対策」を適正かつ円滑に実施するため、各種事務及び必要な取組を実施します。

(継続) 新規就農者等施設園芸補助事業【農業振興課】300万円

UIターン新規就農者に対し、施設園芸用設備の整備を行う場合、費用の一部を補助します。

(継続) 農業担い手対策補助事業【農業振興課】96万円

新たに転入して農業に従事するIターン農業担い手に対し、家賃の一部を補助します。

(イ)組織的農業への支援

(新規) 集落営農推進事業【農業振興課】20万9千円

農業者の高齢化や担い手不足に対応するため、飛鳥地区において、集落営農組織の設立を図り、将来に向けて持続性のある経営体を育成します。

(ウ)市場競争力のある農産物・加工品による輸出力強化

(新規) 営業拠点(アンテナショップ)販売実証事業【農業振興課】189万1千円

当地域の柑橘を中心とした農作物を中心にニーズの高い商品を選抜し、関西圏の新興住宅街等に軽トラックにより持ち込み販売を行います。

(新規) 農業者トライアルショップ事業【農業振興課】1万円

誘客周遊拠点施設を活用して農作物を直接販売したいという生産者に一定期間を無償貸し付けすることにより、商売感覚を養っていただき積極的な起業を促します。

(継続) 地場産野菜発掘事業【農業振興課】 15万円

市内各地域で生産されている農産物を詳しく産地マップ化することにより、食品関連業者へ積極的に売り込みをかけ販路拡大につなげることで、農家所得の向上や山間地域の活性化を図ります。

(継続) 柑橘高品質化推進事業【農業振興課】 306万円

柑橘の高品質化を図り、他産地との差別化を図るため、栽培資材(マルチ材)を新規に購入する場合、費用の一部を補助します。

(継続) 熊野地鶏振興事業【地域振興課】 43万2千円

「熊野地鶏」を市の特産品としてブランド化を図り、市内・外でPR活動を実施し、販売促進に力を入れます。

(継続) すきま野菜等栽培推進事業【農業振興課】 95万円

消費者への販売向けの農産物栽培ではなく、業者からの引き合いの強い加工用野菜等を栽培し、農業者の所得安定や新規就農者等への提案作目となるようにつなげます。

(継続) 「熊野の木ノ子」栽培事業【林業振興課】 72万2千円

紀和町にある旧石原産業の坑道を利用し、シイタケの菌床栽培を実施し、新しい特産品として商品化を図ります。

(継続) 人・農地問題解決加速化支援事業【農業振興課】 58万9千円

地域の営農継続、耕作放棄地の減少などを図るため、中心となる経営体への農地の集積やその他の農業者を含めた地域農業のあり方を定めたマスタープランの作成及び見直しを行います。

(継続) 農地集積協力金事業【農業振興課】 150万5千円

農業者の高齢化により遊休農地・耕作放棄地が増加しているため、農地集積交付金を交付することにより、農地集積を図り、農業振興地域の再生を促進します。

(継続) 「新姫」特産品化推進事業【農業振興課】 396万5千円

「新姫」を特産品として振興していく上で、既に商品化しているぽん酢、ドリンク、果汁、アイスクリーム等の販売強化に努め、売り上げ増を図っていきます。

(継続) 特産品等開発事業(一地域一品運動)【農業振興課】 300万円

地域の人材や資源の活用により、地域の活性化と雇用の創出につながる食品加工・産直施設・伝統工芸・特産品開発事業を行う個人、または、団体の活動に要する経費に対し、支援を行います。

(エ)農村環境の整備と農地の適正な管理

(継続) 県営中山間地域総合整備事業【農業振興課】 3,450万円

中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。

(継続) 県営畑地帯総合整備事業【農業振興課】 3,375万円

高品質柑橘の生産を可能とする用水及び排水路の改良、道路整備を基本とした生産基盤整備を行います。

(オ)獣害対策

(増額) 有害鳥獣駆除事業【林業振興課】 1,093万5千円(694万5千円)

鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。また、26年度はアライグマ、ハクビシンの買上を試行的に行います。

(継続) 有害鳥獣捕獲実施隊事業【農業振興課】 691万9千円

鳥獣による農作物への被害が市内全域で深刻化しているため、有害鳥獣捕獲実施隊を組織して、獣害対策に関するきめ細やかな地域指導を行います。

(継続) 農林産物獣害対策事業【農業振興課】 318万5千円

農林産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農林産物の安定生産を図ります。

(カ)(一財)熊野市ふるさと振興公社の役割

(継続) 熊野市ふるさと振興公社事業【地域振興課】 5,986万9千円

熊野地鶏や新姫、味噌などの特産物の生産・加工・販売や瀬流荘、湯ノ口温泉の観光サービス事業などを行います。平成23年4月から「ふるさと特産物加工所」が稼動し、特産物の生産・加工体制が整ったので、販売についてこれまで以上に力を入れ、市と公社の連携を取りながら「輸出力」が一層大きくなるよう努力していきます。また、集客交流の核となる鬼ヶ城センター複合施設の管理運営を行うことにより、市の地域振興、雇用拡大に貢献していきます。

(継続) 丸山千枚田保全事業【地域振興課】 1,944万2千円

丸山千枚田の稲作・草刈作業及び水口・畦畔・石垣等の補修作業を地元保存会の協力を得て行い、観光資源、文化資源としての活用を図り、農耕文化の継承に努めます。

(2)林業

(ア)市民と共存する豊かな森づくり

(新規) 木造住宅建設促進対策「熊野の家」モデルハウス事業【林業振興課】 1,727万円

地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図るため、熊野材を使用した住宅建築者にレインボー商品券の購入を助成します。また、「熊野の家」モデルハウスとして開放していただいた方にレインボー商品券を増額します。

(新規) 身近なみどり整備推進事業【林業振興課】 146万9千円

住民生活に支障をきたす危険木の伐採に対する支援を行います。

(増額) 森林環境創造事業【林業振興課】 3,100万円(3,000万円)

環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。

(継続) 森林病虫害防除事業【林業振興課】 27万円

花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。

(継続) 森林整備加速化・林業再生基金事業【林業振興課】 3,500万円

中核作業道を開設し、森林整備を効率化します。

(継続) オフセットクレジット推進事業【林業振興課】 65万円

市内の森林によるカーボン・オフセットを推進するため、CO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VÉR)の取得、販売を推進します。

(継続) 甲虫類飼育生産事業【林業振興課】 20万円

紀和町のクヌギ山を利用し、甲虫類の産卵場所を人工的につくり増殖させることで、自然豊かな森づくりとともに、観光客に昆虫採取の体験メニューを提供します。

(継続) 林内作業道開設事業【林業振興課】 186万円

森林組合が開設する作業道について、支援を行います。

(継続) 林道開設事業【林業振興課】 1億2,728万8千円

林道高代山・大井川線開設事業、他2路線の開設・改良事業を実施します。

(継続) 森林再生による野生鳥獣の生息環境創出事業【林業振興課】 500万円

かつて野生鳥獣の生息地となっていた森林を再生することにより、集落周辺への野生鳥獣の出現の減少を図ります。

(継続) 民有林境界測量促進事業【林業振興課】 60万5千円

民有林の位置、境界をGPS等を使用しながら測量・調査する費用の一部を補助します。

(イ)林産物の需要拡大と安定供給体制づくり

(継続) 「熊野の木」新たな特産品づくり事業【林業振興課】 85万8千円(80万3千円)

間伐材を含めた熊野の木材を有効活用するため、都市部の大学でデザインなどを専攻する学生のアイデアを活用し、商品化を検討します。

(継続) 熊野材輸出促進事業【林業振興課】 178万8千円

市と熊野木材協同組合が一体となって熊野材輸出促進のための協議会を設置し、熊野材の産地化を進めることによって消費者の認知度を深め、工務店などに営業活動を行うことにより、都市部での需要拡大を図ります。

(ウ)森を支える人と組織体制づくり

(継続) 林業担い手対策事業【林業振興課】 24万円

新たに転入して林業に従事するI・Jターン林業担い手の家賃を2年間助成します。

(継続) 森林経営計画作成推進事業【林業振興課】 114万円

一体的に施業などを行う集約化を推進するため、小規模森林所有者を取りまとめ合意形成を図ります。合意形成への取組に必要な森林情報の収集・現況調査・境界確認等の森林所有者の合意形成等活動への支援を行います。

(3)水産業

(ア)水産資源の安定的確保と漁業基盤の整備

(新規) 水産物供給基盤機能保全事業【水産・商工振興課】 800万円

遊木漁港施設の機能保全を行うために必要な機能保全計画の策定を行います。

(新規) 遊木漁港機能強化事業【水産・商工振興課】 5,250万1千円

遊木漁港内の主要な岸壁、防波堤等について、耐震診断に基づき地震・津波対策工事を行います。

(新規) 磯崎漁港改良事業【水産・商工振興課】 1,180万1千円

磯崎漁港の泊地へ土砂が堆積し、漁船の係留、航行に支障をきたしていることから、浚渫工事を行います。また、陥没した物揚場等の改良工事を行い、漁業者をはじめとした関係者が安全、安心に漁業活動ができるようにします。

(新規) 遊木漁港改良事業【水産・商工振興課】 450万円

遊木漁港内の物揚場に係船環を設置するほか、岸壁に梯子、新市場への入り口に門扉を設置し、漁業者をはじめとした関係者が安全、安心に漁業活動ができるようにします。

(継続) 遊木地区漁港漁村環境整備事業【水産・商工振興課】 1億710万1千円

遊木漁港内に建設予定の新たな魚市場の完成後、漁業者等が安全、安心に活動できるように、北防波堤を延長して港内の静穏度向上を図ります。

(継続) 水産多面的機能発揮対策事業【水産・商工振興課】 20万円

地域活動組織が実施する水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する活動(藻場の環境保全、沿岸域の環境保全など)について支援を行います。

(継続) 種苗放流事業【水産・商工振興課】 369万2千円

トラフグ、ヒラメ、マダイの放流に加え、魚価が高く放流後の定着性のあるカサゴの放流を実施し、水産資源の維持・増大と漁家所得の向上・安定を図ります。

(イ)ブランド化と輸出の拡大

(継続) 漁業6次産業化推進事業【水産・商工振興課】 47万5千円

漁業関係者等と産地協議会を設置し、漁業の6次産業化に資する取組を行います。

(ウ)内水面漁業の振興

(継続) 漁協淡水魚放流事業【水産・商工振興課】 135万円

水産動植物の増殖保護と漁獲高の向上を図るため、大又川飛鳥五郷、紀和町、北山川神川の各漁協によるアユ、ウナギ、アマゴの放流に対し、助成を行います。

(エ)後継者育成

(新規) 地域おこし協力隊漁業後継者育成事業【水産・商工振興課】 400万3千円

I・Jターン者を受け入れ、一本釣り漁などの個人漁家経営者のもとで修業を行ってもらい、新たな漁業者を確保します。

(継続) 漁業担い手対策事業【水産・商工振興課】 182万円

漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。

(継続) 漁業新規就業者支援事業【水産・商工振興課】 36万円

熊野漁協による漁業新規就業者支援事業に対し補助を行います。

②保健・医療・福祉の充実 「支え助け合い、健やかにいきいきと暮らせるまち」

1 支え合い助け合う福祉の充実

(1)高年齢者福祉

(ア)高年齢者の健康づくり

(新規) 高年齢者のための転倒・寝たきり予防プログラム事業【教育委員会】6千円

紀和町B&G海洋センターで、チェアエクササイズなどの運動を行い、健康づくりを図っていきます。

(継続) 骨粗しょう症予防事業【健康・長寿課】2万9千円

加齢とともに骨密度が低下しやすい女性を対象に骨密度チェックを実施し、健康教育を施すことによって、将来骨粗しょう症になることを防ぎます。

(継続) 成人歯科保健対策事業【健康・長寿課】17万6千円

歯を失う最大の原因になっている歯周疾患の予防と早期発見を行うため、40歳、50歳の節目の年齢の方に検診、保健指導を行います。

(継続) 介護予防ケアマネジメント事業【健康・長寿課】4,554万6千円

介護予防事業、新予防給付の対象となる高年齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。

(継続) 介護予防一次予防事業【健康・長寿課】3,148万5千円

65歳以上の高年齢者に対する健康相談や健康教室、高年齢者伝承遊び普及、水中運動、筋力向上トレーニング、ふれあい会食、聴覚チェックなどを実施し、生活習慣改善及び要介護予防につなげます。

(継続) 介護予防二次予防事業【健康・長寿課】176万4千円

要介護状態の予防のため、要介護状態になる可能性の高い高年齢者の把握や評価をし、運動機能の向上、栄養相談、口腔機能改善などを実施します。

(イ)高年齢者の生きがいと社会参加の促進

(新規) 高年齢者サロン事業【健康・長寿課】61万1千円

高年齢者による高年齢者のための憩いのサロンを運営、開催し、高年齢者に外出する楽しみを提供します。

(継続) 若返りクラブ事業【健康・長寿課】 144万円

高齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために、外出の機会を増やし、長く活動できる趣味と将来にわたって助け合える仲間づくりの場として支援していきます。

(ウ)共に支え合える地域社会づくり

(新規) 高齢者福祉計画策定事業【健康・長寿課】 4万7千円

高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置が講じられるよう、地域における高齢者を対象とする福祉サービス全般にわたる供給体制を確保するために高齢者福祉計画を策定します。

(増額) 食の自立支援事業【健康・長寿課】 651万7千円(631万9千円)

在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。

(継続) 自殺対策事業【健康・長寿課】 33万7千円

講演会の開催や相談機会・情報キャッチの方法を充実させることにより、自殺の予防に努めます。

(継続) 緊急通報装置設置事業【健康・長寿課】 23万7千円

在宅の一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、高齢者の急病、災害発生時の緊急時等の連絡・援助体制を確立し、不安の解消、日常生活の安全の確保により、高齢者福祉の向上を図ります。

(継続) 元気見守り事業【健康・長寿課】 188万8千円

地区社協の福祉委員を中心として、定期的な訪問やはがき、電話による見守り活動を行い、一人暮らし高齢者等の見守り、安否確認を実施します。

(継続) 家族介護者交流事業【健康・長寿課】 75万8千円

認知症高齢者の家族介護者への相談、指導、介護技術の習得支援、情報交換、交流等を行います。

(エ)相談・支援体制の充実

(増額) 元気づくり推進員育成事業【健康・長寿課】 114万6千円(92万7千円)

元気づくり推進員を育成し、健康診査やがん検診の推進、健康づくり事業のPRを行います。地域に密着した健康づくりを実施することで、市民の健康への意識を高めます。

(増額) 集落支援事業【健康・長寿課】 911万1千円(386万8千円)

集落支援員を設置し、過疎集落等における住民同士による高齢者の見守り活動や、草刈、

清掃等の生活環境維持の支援を行います。

(継続) 元気確認ふれあいノート事業【健康・長寿課】 11万6千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、75歳以上の一人暮らし高齢者で見守りを希望する方を対象に「元気ふれあい確認ノート」を配布し、見守りを希望する高齢者がどれくらい訪問を受けているか把握し、訪問頻度の少ない人に対して、今後どのような見守りを行っていくかを検討します。

(継続) メタボリックシンドローム改善強化事業【健康・長寿課】 22万1千円

国民健康保険の特定保健指導の対象者に対し、個別訪問による改善のための指導などを実施して、メタボリックシンドロームの予防、改善を図ります。

(継続) 一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)

【健康・長寿課】 11万8千円

一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や診察券、健康保険証、緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。

(継続) 認知症サポーター養成事業【健康・長寿課】 18万1千円

講師役のキャラバンメイトを養成し、講演会・研修会を開催することで、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成します。

(継続) 総合相談・権利擁護事業【健康・長寿課】 524万4千円

社会福祉士が中心となり、高齢者の実態把握、総合相談・支援及び権利擁護に関する業務を行います。

(継続) 介護用品支給事業【健康・長寿課】 365万5千円

重度の介護状態にある高齢者を自宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対し、介護用品を支給します。

(継続) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業【健康・長寿課】 506万7千円

地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。

(2)障がい者福祉

(ア)地域生活への移行支援

(継続) 障がい者自立支援事業【福祉事務所】 4億2,756万6千円

障がいを持った方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提

供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。

(継続) 障がい者相談員設置事業【福祉事務所】 5万円

身体障がい者及び知的障がい者の更正援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、障がい者地域活動の推進、関係機関の業務に関する協力、障がい者に関する援護思想の普及を行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ります。

(継続) 障がい者(児)紙おむつ給付事業【福祉事務所】 43万2千円

在宅生活している重症心身障がい者(児)に対して、紙おむつを給付します。

(イ) 就労支援と社会参加

(継続) 訓練施設等通所交通費補助事業【福祉事務所】 160万7千円

在宅の障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が訓練施設等に通所するための費用の一部について補助を行います。

(継続) 重度障がい者等管外施設送迎費補助事業【福祉事務所】 17万円

市外施設を利用する重度障がい児(者)に対する移送費用について、補助を行います。

(3) 子育て支援

(ア)母と子の健康づくり

(新規) 不育症治療費補助事業【健康・長寿課】 20万円

不育症治療費に要する費用の一部を補助し、不育症治療を受けた方の経済的負担を軽減します。

(新規) 風しん予防接種助成事業【健康・長寿課】 30万円

妊娠を希望する女性または家族に対し、風しん予防接種費用の一部を助成します。

(増額) 予防接種事業【健康・長寿課】 4,586万8千円(2,925万9千円)

予防接種法、結核予防法に基づき、四種混合、三種混合、BCG、二種混合、日本脳炎小児肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ等の予防接種を行います。

(継続) 少子化対策・妊婦一般健康診査事業【健康・長寿課】 1,327万5千円

母子保健のしおりを発行するとともに、自己負担なしで受診していただける妊娠中14回の健康診査を医療機関に委託して行います。

(継続) 保育所フッ化物洗口事業【福祉事務所】 37万8千円

虫歯予防のため、保育園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。

(継続) 小学校フッ化物塗布推進事業【教育委員会】 26万6千円
虫歯予防のため、小学校1年生の児童にフッ化物塗布を行います。

(継続) 幼稚園フッ化物塗布推進事業【教育委員会】 11万2千円
虫歯予防のため、幼稚園園児にフッ化物塗布を行います。

(継続) 幼児フッ化物塗布推進事業【健康・長寿課】 73万5千円
虫歯予防のため、1歳6か月、2歳6か月、3歳児にフッ化物塗布を行います。

(継続) 麻しん、風しん予防接種推進事業【健康・長寿課】 301万3千円
麻しん、風しんの予防接種を強化し、公衆衛生の向上及び増進につなげます。

(継続) 任意予防接種補助事業【健康・長寿課】 51万1千円
任意予防接種のうち、MR、麻しん、風しん、高齢者肺炎球菌に要する費用の一部を補助します。

(継続) ロタウイルス予防接種助成事業【健康・長寿課】 126万2千円
ロタウイルスの罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(継続) おたくふかぜ予防接種助成事業【健康・長寿課】 38万4千円
おたくふかぜの罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(継続) 水痘予防接種助成事業【健康・長寿課】 102万4千円
水痘(みずぼうそう)の罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(継続) 5歳児発達健診事業【健康・長寿課】 15万1千円
注意欠陥多動性障害、高機能広汎性発達障害、学習障害、軽度精神発達遅延の疑いがある子供について小児精神発達専門医師による就学前の健診及び相談を行います。

(継続) 乳幼児療育教室(すぎっこ教室)事業【健康・長寿課】 52万1千円
発達に遅れのある幼児と保護者を対象に、保育士による集団活動や遊びの指導などによる発達支援のための療育教室を実施します。

(継続) 特定不妊治療費助成事業【健康・長寿課】 50万円
不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成します。

(継続) 食育推進事業【健康・長寿課】 18万3千円

幼児とその保護者に対して、教育用教材を配布することで、親子で食に関する正しい習慣を身につけ、生活習慣病を予防します。

(イ)安心して産み育てられる環境づくり

(新規) 発達支援を要する子どもへの総合支援システム事業【福祉事務所】 595万2千円

保健、福祉、教育の3部局が連携して「(仮称)こども発達支援室」を福祉事務所内に新設して、支援を必要とする子どもに対して効果的な支援を行います。

(新規) 子ども・子育て支援計画策定事業【福祉事務所】 10万7千円

平成27年度から始まる、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図ることを目的として、「子ども・子育て支援計画」を策定します。

(新規) 子育て世帯臨時給付金事業【福祉事務所】 1,844万4千円

平成26年4月からの消費税引き上げに際し、子育て世帯に対し、現金を給付します。

(増額) 中学生・高校生等医療費助成事業【市民保険課】1,087万9千円 (699万2千円)

子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため、医療費の助成を中学生、高校生等まで拡大します。中学生は医療費の自己負担を無料に、高校生等(18歳の年度末まで)は医療費の自己負担を現在の3分の1とします。

(増額) 障がい児通所支援事業【福祉事務所】 3,315万8千円(1,048万5千円)

障がい児を持った子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行います。

(継続) 放課後児童対策事業【福祉事務所】 1,810万6千円

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。

(継続) 少子化対策・ひとり親家庭自立支援事業【福祉事務所】 135万円

くまのっ子学童クラブに入所するひとり親家庭の保育料の2分の1を補助します。

(継続) 井戸保育所民営化補助事業【福祉事務所】 200万円

平成24年4月から民間移行した井戸保育園の初期必要経費について、ひまわり保育園に3年間補助を行い、効率化を促進します。

(継続) 私立保育所延長保育促進事業【福祉事務所】 970万6千円

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保護者の希望に応じて、

ひまわり保育所、井戸保育園で19時までの延長保育を実施します。

(継続) 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業

【福祉事務所】 102万円

子育ての不安感、孤立感を解消するため、小学校就学前の乳幼児を養育している家族が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1、ひとり親家庭の場合は対象を小学6年生まで拡大し、利用料の4分の3を助成します。

(継続) ひまわり保育園運営費補助事業 【福祉事務所】 396万3千円

ひまわり保育園に対して職員研修費や保育士等の雇用、低年齢児保育の実施などに要する経費の一部を補助し、保育サービスの充実を図ります。

(継続) 子育て支援センター事業 【福祉事務所】 1,061万円

金山保育所内に職員を配置して保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談及び情報提供を行い、子育て支援を行います。

(継続) 熊野市ファミリーサポートセンター事業 【福祉事務所】 245万6千円

ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。

(継続) 児童手当給付事業 【福祉事務所】 2億1,995万3千円

3歳未満の子ども一人につき月額1万5千円を、3歳以上小学校修了までの子ども(第1子、第2子)は月額1万円、3歳以上小学校修了までの子ども(第3子以降)は月額1万5千円、中学生は月額1万円を支給します。所得制限以上の方には月額5千円を支給します。

(継続) チャイルドシート購入費補助事業 【福祉事務所】 45万円

6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、助成を行います。

(継続) 少子化対策・多子家庭応援事業 【福祉事務所】

18歳未満の子どもが3人以上いる世帯で、第3子以降が保育所に入所する場合、保育料を第3子は月額5千円、第4子は月額7千円、第5子以降は月額1万円をそれぞれ減額します。

(継続) 少子化対策・土曜日延長保育事業 【福祉事務所】

引き続き土曜日の開所時間を延長し、保育サービスの充実を図ります。

①土曜日午後5時まで延長

金山

②土曜日午後1時まで延長

新鹿、木本、五郷、板屋、神川

(継続) ひとり親家庭高等技能訓練促進事業 【福祉事務所】 414万2千円

ひとり親家庭の父または母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。

(継続) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付事業【福祉事務所】 20万円

ひとり親家庭の父または母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、ひとり親家庭の自立の促進を図るため、就業に結びつく可能性が高く、国が定める講座等の受講費用の一部を助成します。

(継続) 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業【福祉事務所】 22万5千円

小児慢性特定疾患児に対して、特殊寝台等の日常生活用具を給付します。

(継続) 少子化対策・ふるさと商店街子育て支援事業【水産・商工振興課】 11万2千円

3人以上子どもがいる世帯に対して、市内の協賛店舗で買物することで、その購入額に応じてレインボー商品券と交換できるサービスが受けられるパスポートを発行します。

(ウ)地域や社会で子育てを支える環境づくり

(継続) 老人とのふれあい事業【福祉事務所】 64万2千円

保育園児と地域の老人との季節行事や手作り玩具の製作・伝承遊び等を通じてふれあいを図り、子どもには「人を敬う心」を醸成するとともに、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進します。

(4)社会保障等

(ア)福祉医療

(継続) 障がい者医療費助成充実事業【市民保険課】 166万7千円

療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の療養費を助成します。

(イ)生活支援

(新規) 臨時福祉給付金支給事業【福祉事務所】 1億8,190万5千円

平成26年4月からの消費税引上げに際し、低所得者に対し、現金を給付します。

2 健康長寿の推進

(1)健康づくり

(ア)健康づくり意識の向上

(新規) すいすい はつらつウォーキング事業【健康・長寿課】 100万円

チームで楽しみながらウォーキングや健康づくりに取り組み、その結果や取組内容によって表彰します。楽しみながらウォーキングや健康づくり事業に参加することで、主体的な健康づくりを支援し、健康づくりの習慣と関心を高めます。

(新規) 健康づくり社会基盤整備事業【建設課】 50万円

人通りの多い市道や山崎運動公園園路に歩行距離を明示して、健康づくりの意識高揚を図ります。

(増額) がん検診事業【健康・長寿課】 1,539万2千円(1,432万円)

がんの早期発見、早期治療を図るため、集団(検診車)、個別(医療機関)によるがん健診を行います。

(継続) がん検診推進事業【健康・長寿課】 202万3千円

がん健診の受診率を高めるため、啓発活動を実施したり、予防のための生活習慣についてPRなどを行います。また、乳がん、子宮がん、大腸がんの対象者に検診手帳、クーポン券と共に受診案内を送付し、有効期限内に受診した方に健診費用を補助します。

(イ) 生活習慣病予防

(継続) 健康相談・意識啓発・訪問指導事業【健康・長寿課】 29万2千円

健康診査受診者に対して個別相談、事後指導通知及び家庭訪問を実施し、本人やその家族に対し必要な保健指導を行います。

(2)医療体制

(ア)救急医療体制の充実

(継続) 救急救命士養成事業【消防署】 325万円

平成26年度においても1人養成を行います。また、現在救急救命士の資格を所有している隊員については、順次気管挿管の実習を実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

1 市民文化の創造

(1)文化芸術

(ア)文化芸術に触れる機会の提供

(継続) 文化交流センター企画事業【教育委員会】80万1千円

文化交流センターにおいて展示会を企画・実施するとともに、来館者参加型のイベントを開催します。

(継続) 文化公演実施事業【教育委員会】954万8千円

芸能文化に接する機会の少ない当地方において、芸能文化を鑑賞する機会をつくるとともに、地域文化の創作・育成を目指す企画も取り入れ、市民文化の向上を図ります。

(継続) 図書館企画事業【教育委員会】30万円

図書館において作家講演会を実施します。

(イ)文化芸術活動の場の提供

(新規) 図書館図書システム更新事業【教育委員会】4,473万7千円

図書館を引き続き快適に利用していただくため、図書館の情報システム、貸出システムの更新を行います。

(継続) 図書館図書購入事業【教育委員会】2,000万円

図書館図書を購入します。

(ウ)文化的資源の継承と活用

(増額) 紀和鉦山資料館体験学習事業【教育委員会】13万2千円(1万2千円)

鉦山ズリ場や坑道での体験学習事業を引き続き実施するほか、新たにクレイ(粘土状の鉦石)の美容効果の講演会や体験事業、熊野の石に描いた「金魚絵」の展示会などを行い、鉦山への関心を深め、資料館の魅力発信につなげます。

(継続) 熊野街道歴史の道整備活用推進事業【教育委員会】161万2千円

世界遺産登録されている熊野古道の清掃、枝払い等を行い、きれいに保つことによって、イメージアップを図り、来訪者の増加につなげます。

(2)国際交流

(ア)国際交流の推進

(継続) 国際交流推進事業【市長公室】166万2千円

姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、ソレント市及びバストス市からの児童研修生の受け入れを行います。

(継続) 児童海外研修事業【教育委員会】300万円

姉妹都市であるソレント市に小学生5人を派遣します。

(3)地域間交流

(ア)友好都市との交流推進

(継続) 友好都市交流事業【市長公室】14万9千円

友好都市である奈良県桜井市との友好を深めるため、熊野市からは「ウォーキングフェスティバル」や「さくらい農・商ふれあいフェスタ」などへ、桜井市からは「熊野大花火大会」などへの参加をはじめ各種交流事業を行います。

(イ)他地域との交流推進

(継続) 他地域交流検討事業【市長公室】75万円(34万7千円)

宮崎県日向市とは、碁石(那智黒石とハマグリ)や神武天皇東征の出発地と到着地などでつながりがあることから、友好都市の実現を視野に入れた各種交流事業を行います。

2 生涯学習社会の形成

(1)学校教育(義務教育)

(ア)学力向上の推進

(増額) 夏休み学習プラン事業【教育委員会】50万4千円(36万円)

市内小学校5校を対象に、夏休みに20日間の学習会を開催し、学力向上を図ります。また、26年度から、市民会館等でも学習会を開催します。

(増額) 放課後学習プラン事業【教育委員会】128万8千円(91万円)

市内小学校5校を対象に、放課後2時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

(増額) 外国語指導助手(ALT)配置事業【教育委員会】

1,749万5千円(1,506万7千円)

外国語指導助手(ALT)を3名体制とし、市内小・中学校の児童・生徒と総合的な学習の時間、英語の時間等において交流、学習を行うことにより、英語教育を充実します。

(継続) 学力向上支援事業【教育委員会】33万4千円

小中学校において標準学力調査を実施し、その分析結果に基づく学力向上プランを作成し授業改善を行うことで、児童・生徒の学力向上を目指します。

(継続) 特色ある学校づくり事業【教育委員会】120万円

児童生徒の実態や教育的ニーズを踏まえたうえで、学校独自の目標を立て「学力の向上」「社会性の育成」「防災教育の充実」等を目指します。

(イ) 教職員の資質の向上

(継続) 学力向上推進研修事業【教育委員会】16万1千円

全国学力学習状況調査の結果を受け、研修会を開催し、授業方法の工夫と改善につなげます。

(ウ) 心の教育の推進

(増額) いじめ対策事業【教育委員会】49万1千円(44万2千円)

いじめを未然に防止するために学級満足度調査(QU調査)を実施して、学級の中での子どもたちの人間関係を明らかにし、課題を解決するため適切な指導を行います。

(継続) 小中学校学級用図書購入事業【教育委員会】210万8千円

児童生徒の読書の量と質の向上のため、学級用図書を購入します。

(エ) 特別支援教育の推進

(継続) 臨時特別支援教育支援員設置事業【教育委員会】3,944万6千円

知的、身体的障がいのある児童生徒に支援員を配置します。

(オ) 安全・安心な学校環境の整備

(新規) 紀和町スクールバス運行事業【教育委員会】1,310万円

遠距離通学する生徒の通学の安全を確保するため、入鹿小中学校及び熊野川小中学校へ通う生徒のためにスクールバスを運行します。

(新規) 小・中学校トイレ洋式化事業【教育委員会】1,150万円

井戸・有馬・飛鳥小学校、木本・五郷中学校のトイレ洋式化を行います。

(新規) 神上小・中学校パソコン室エアコン設置事業【教育委員会】 15万円

神上小・中学校のパソコン室にエアコンを設置します。

(新規) 木本中学校吹奏楽用楽器購入事業【教育委員会】 109万円

木本中学校に吹奏楽用楽器(ティンパニー)を購入します。

(2) 学校教育

(ア) 防災教育

(継続) 小・中学校防災教育事業【教育委員会】 30万円

大規模災害時に児童生徒及び教職員が万全に対応できるよう、地域の実態に応じた防災教育を行います。

(イ) 高等学校等への要請と協力

(継続) 奨学金貸付事業【教育委員会】 540万円

大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後に償還を受けます。

(3) 生涯学習

(ア) 多様な生涯学習機会の提供

(継続) 熊野検定事業【教育委員会】 7万1千円

市内の観光に携わる関係者(宿泊施設、飲食店、タクシー等)を始め、市民がより深く熊野市を知るためにセミナー等を開催し、語り部やガイドができる人材を育成します。

(継続) 生涯学習事業【教育委員会】 236万7千円

高度情報化、国際化等に対応した学習機会をつくるため、「熊野市市民大学」、「まちの人材活用事業」、「イタリア語教室」等の講座を開設します。

(継続) 図書ボランティア養成事業【教育委員会】 24万円

これまでの読み聞かせに加え、本の配架や補修等もできるボランティアを養成します。

(4) 生涯スポーツ

(ア) 生涯スポーツの普及・促進

(新規) 大紀町スイミングクラブとの子ども交流水泳教室事業【教育委員会】 6万3千円

全国ジュニアチャンピオンを有する大紀町スイミングクラブのコーチ、子どもたちを招いて

の交流水泳教室を開催して、地元熊野市の子どもたちとの交流を図ります。

(増額) 水泳教室事業【教育委員会】 23万5千円(12万3千円)

大人と子どもを対象とした初級者水泳教室を夜間に開催します。

(増額) くまの総合型地域スポーツクラブ運営事業【教育委員会】

153万1千円(123万1千円)

国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもから高齢者、障がいのある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。また、26年度は小中学校女子ソフトボールチーム設立を目指します。

(継続) ヨット体験事業【教育委員会】 8万4千円

小学生以上を対象にヨット体験教室を開催します。

(継続) カヌー川下り体験事業【教育委員会】 42万3千円

小学生以上を対象にカヌーでの川下り体験を実施します。

(継続) 「チャレンジレスキュー2014」事業【教育委員会】 5万3千円

泳げない子どもも参加できるプールでの運動会を実施します。

(継続) B&Gウォーターマラソン事業【教育委員会】 1万円

紀和B&Gプールを利用して歩いた距離・泳いだ距離を、インターネットを通じて全国の参加者と競い合います。

(継続) 市民健康スポーツ祭開催事業【教育委員会】 50万円

子どもから高齢者、障がいを持つ人まで全市民を対象に積極的に参加することのできるスポーツ祭を開催し、地域の生涯スポーツ振興を図り、「市民1人1スポーツ運動」を推進します。

3 人権尊重社会の形成

(1)人権の尊重

(ア)人権問題への総合的な取組

(継続) 人権啓発事業【市民保険課】 38万3千円

広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会とコンサートを行います。

(継続) 人権問題学習事業【教育委員会】 20万円

人権講演会を通じて異文化を理解し、人権啓発・人権教育を推進します。

(2)男女共同参画社会

(ア)一人ひとりを認め合う意識づくり

(増額) 男女共同参画推進事業 【市長公室】 32万8千円(13万2千円)

男女共同参画の普及のために各種啓発活動を行います。また、東紀州5市町で連携し、持ち回りで映画を上映します。平成26年度は熊野市で映画を開催いたします。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

1 美しく魅力ある景観の整備

(1)土地利用

(ア)適正な土地利用の推進

(継続) 地籍調査事業【建設課】 783万円

道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、国道の整備促進を図ります。

(2)市街地の整備

(ア)計画的な市街地の整備

(新規) 山崎運動公園改修事業【建設課】 372万円

山崎運動公園の多目的グラウンドのアンツーカー改修や案内看板の設置などを実施して、市民の利用促進、スポーツ集客の拡大につなげます。

(継続) 市街地町並み景観整備事業【建設課】 300万円

本町通りにおいて、家並みの熊野らしいデザインでの統一化を図ります。

(継続) 防犯灯設置事業【建設課】 175万円

区、自治会などが防犯灯の新設する際や、LED防犯灯への改修費用の一部に対して補助を行い、市内防犯灯のLED化を進めます。

(継続) オール熊野世界NO. 1フェスティバル開催事業【市長公室】 400万円

熊野市駅前において、市内各地域の住民同士の絆の再確認や地域内の活力再生、市全体のPRのため、全市民参加型のイベントを実施します。

(3)花のまちづくり

(ア)花いっぱい運動の普及

(継続) 花いっぱい運動事業【市長公室】 156万6千円

育苗施設を活用した花づくり、市内の花グループで組織する「くまの花いっぱいネットワーク」の事業に対して助成を行い、「花のまちづくり」を推進します。

2 安全で快適な居住環境の充実

(1) 防 災

(ア) 地域の自主防災組織等の強化

(継続) 自主防災組織アマチュア無線免許取得事業【防災対策推進課】68万3千円

災害時の情報伝達手段としてアマチュア無線を活用するため、自主防災組織がアマチュア無線の免許を取得する費用に対して補助を行います。

(継続) 自主防災組織資機材整備事業【防災対策推進課】50万円

防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。

(イ) 防災・減災体制の充実

(新規) 津波避難タワー建設事業【防災対策推進課】1億5,300万円

近隣に高台などが無い地域の住民の生命を守り、身体の安全を確保するため、有馬町芝園地区、志原尻地区に津波避難タワーを建設します。

(新規) 災害時安否確認「黄色いハンカチ」作成事業【防災対策推進課】1千円

大災害直後の安否確認のため、家にいる家族が全員無事だった場合に玄関先等に黄色いハンカチを掛ける取組を広め、安否確認を迅速にできるようにします。

(新規) 避難所運営マニュアル作成・運営モデル事業【防災対策推進課】1千円

地域の実情と特性に応じた避難所運営マニュアルを地域住民が主体となって作成し、地域主体で円滑な運営ができるようにします。

(新規) 防災対策介護予防健康体操事業【防災対策推進課】1千円

ゴムバンドを使った健康体操を遊木町で実施し、「自助」「互助」による円滑な避難所運営ができる地域づくりを目指します。

(新規) 新鹿海水浴場津波避難訓練事業【防災対策推進課】7万円

津波避難訓練を実施し、海水浴客や関係者の防災意識の向上を図ります。

(新規) 被災者建築物応急危険度判定事業【建設課】20万6千円

地震によって被害を受けた建築物の危険性を速やかに判定して情報提供するため、職員の資格取得を行ったり、判定ステッカーを購入し、大規模災害に備えます。

(新規) 特設公衆電話事前設置事業【防災対策推進課】92万円

災害発生時に速やかに通話手段を確保するため、屋内避難場所に特設公衆電話回線の事前設置を行います。

(新規) アマチュア無線整備事業【防災対策推進課】 120万円

出張所にアマチュア無線を配備します。

(新規) 防災啓発指導員事業【防災対策推進課】 605万円

防災啓発指導員を配置し、耐震診断・家具転倒防止の啓発・受付をはじめ、家具転倒防止器具の取り付けなどを行います。

(新規) 小・中学校、幼稚園防災機能強化事業【教育委員会】 1,522万7千円

小学校・中学校、幼稚園の校舎窓ガラスにガラス飛散防止フィルムを取り付けして、防災機能を強化し、児童の安全確保を図ります。

(新規)有馬第1公民館屋外階段設置事業【教育委員会】 930万円

有馬町芝園の有馬第1公民館に津波避難用の屋外階段を設置します。

(増額) 災害時要援護者対策けん引車いす補助装置貸与事業

【防災対策推進課】 182万6千円(120万円)

地震・津波時に備えて、津波浸水予測地域内(須野町～久生屋町)に居住している車いすを利用している方にけん引車いす補助装置を無償で貸与します。

(増額) 防災公園整備事業【建設課】 1億5,750万円(3,780万円)

オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、室内練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成26年度は敷地の造成工事等を行います。

(増額) 急傾斜地崩壊対策事業【建設課】 800万円(410万円)

甫母地区外3地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。

(継続) 災害時要援護者避難対策推進事業【防災対策推進課】 73万9千円

災害時に要援護者の被害を減少させるため、市内3地区で個別避難計画の作成や避難訓練を実施します。

(継続) 防災ラジオ用アダプター有償配布事業【防災対策推進課】 16万2千円

防災ラジオの経年劣化により、アダプターの故障が相次いでいることから、有償での配布を行います。

(継続) 避難誘導標識設置事業【防災対策推進課】 299万円

地震発生時、津波から速やかに避難ができる体制を整えるため、避難場所の表示、避難誘導等の看板を整備します。

(継続) 災害時防災井戸設置事業【防災対策推進課】 84万円

災害時の応急給水体制を補完するため、防災井戸を指定して、市民に周知します。また、可搬手押しポンプと浄水器を購入し、災害時に貸し出します。

(継続) 家具転倒防止器具取付事業【防災対策推進課】65万4千円

災害要援護者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、L字型金具等を取り付けます。また、自主防災組織で取り付ける場合、対象者への器具の無償配布を行います。

(継続) 津波避難路ブロック塀等除去改修事業【防災対策推進課】150万円

津波浸水予想地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。

(継続) 津波ハザードマップ整備事業【防災対策推進課】50万円

津波からの住民の速やかな避難に役立てるため、三重県が想定した津波浸水域に基づいて、津波ハザードマップを作成し配布します。

(継続) 災害時避難所整備事業【防災対策推進課】199万8千円

大規模災害時、避難所の運営に必要な設備を整備します。

(継続) 災害時用非常食・飲料水整備事業【防災対策推進課】81万8千円

大規模災害時の避難者のための非常食及び非常飲料水を備蓄します。

(継続) 木造住宅耐震補強補助事業【防災対策推進課】2,325万円

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。

(継続) 木造住宅耐震補強設計費補助事業【防災対策推進課】400万円

木造住宅の耐震補強設計費への補助を行います。

(継続) 停電時避難誘導灯整備事業【防災対策推進課】581万円

災害時に停電しても自動的に点灯する街灯を整備することで、停電時の夜間の避難に備えます。

(継続) 耐震シェルター設置費補助事業【防災対策推進課】400万円

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の居室等に耐震シェルター設置する場合に補助を行います。

(継続) 避難路整備事業【建設課】3,000万円

大規模地震・津波時の速やかな避難を図るため、避難路における階段手すり整備や路面の補修などを行います。

(継続) 木造住宅耐震診断等事業【防災対策推進課】 463万2千円

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、市民からの希望を募り耐震診断を実施します。

(継続) 緊急時用浄水器整備事業【防災対策推進課】 75万6千円

大規模災害時に孤立が予想される地区において、緊急時用浄水器の整備を行います。

(2)消 防

(ア)消防力の充実強化

(新規) 資機材運搬車購入事業【消防署】 523万1千円

災害時などに緊急走行が可能な資機材運搬車(消防用トラック)を購入し、消防力の充実強化につなげます。

(新規) 消防水利施設整備事業【消防署】 420万円

金山駐在所前の防火水槽を整備します。

(増額) 消防救急デジタル無線・通信指令システム整備事業【消防署】

5億1,701万2千円(1,444万2千円)

消防救急無線をデジタル化し、消防署内の通信指令システムを更新し、消防力の充実強化につなげます。

(3)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(継続) 空家情報公開事業【水産・商工振興課】 3万6千円

市内の山間部・海岸部にある空家を貸したいという人を募集し、市のホームページや広報を通じて空家情報を公開し、借りたい人を募集します。

(4)道 路

(ア)市道の整備推進

(新規) 道路防災点検事業【建設課】 300万円

適切な道路管理を行うため、道路の点検を実施し、今後の計画的な災害防除対策の実施に向けた基礎資料を作成します。

(増額) 社会資本整備総合交付金事業【建設課】 7,350万円(4,397万2千円)

地域住民の生活環境の向上を図るため、平成26年度は、深山神社3号線、鬼ヶ城西口線、瀬線の改良事業を実施します。

(増額) 道路新設改良事業【建設課】 4,000万円(3,350万円)

市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。

(増額) 道路維持事業【建設課】 8,000万円(6,500万円)

市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。

(継続) 橋梁長寿命化修繕計画事業【建設課】 5,000万円

市道の重要路線及び集落孤立化の恐れのある橋梁の修繕、落橋防止を行います。

(5)交通体系の整備

(ア)公共交通の確保

(継続) バス運行対策事業【市長公室】 7,332万5千円

路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。

運行路線 清流・那智黒石の里線、潮風かほる熊野古道線

瀬流荘紀南病院線、熊野古道瀬流荘線、飛鳥五郷線

(継続) 生活交通路線維持費補助事業【市長公室】 208万9千円

市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。

(継続) 福祉バス運行事業【健康・長寿課】 619万3千円

①紀和町において、バスの未運行地域に福祉バスを運行し、地域の高齢者が安心して生活ができるよう利便性を確保します。

②JR、バスが運行されていない須野・甫母地区、育生地区、神川地区にワゴン型乗用車を運行し、高齢者の生活利便性の向上を図ります。

(イ)地域交通体系の構築

(新規) 山間部乗合タクシー運行事業【市長公室】 770万円

山間部における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るため、紀和町で乗合タクシーを運行します。

(新規) 電気自動車充電設備設置事業【市長公室】 1,015万円

電気自動車等に対応した急速充電設備を設置し、観光客等の利便性向上を図ります。

(継続) 市街地交通対策推進事業【市長公室】 769万5千円

市街地における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るため、乗合タクシーを運行します。また、観光客に対する2次交通の確保を図るため、市街地観光施設及び体験施設を周遊する定時定路線型、運賃固定のバス(ワゴン車)を運行します。

(継続) 地域公共交通会議運営事業【市長公室】 31万円

市が運行主体となる地域公共交通の実施及び態様の検討のため、地元住民及び関係機関の間で協議を行い、合意形成を図ります。

(7)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(継続) 市営住宅修繕事業【建設課】 350万円

各市営住宅の修繕を行います。

(8)河川

(増額) 河川維持管理事業【建設課】 785万円(185万円)

土地・建物などを災害から守るため、河川の堆積土砂の撤去や河川整備を行います。

(9)災害復旧事業

(継続) 井戸川河川災害復旧事業【建設課】 1,500万円

台風12号により被害を受けた井戸町の宇井潜水橋の架替事業を実施します。

3 環境保全の推進

(1)廃棄物処理

(ア)廃棄物の減量化

(継続) 電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入費補助事業【環境対策課】 66万円

電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入者に対し補助を行います。

(イ)廃棄物処理体制の充実

(増額) 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業【環境対策課】

7億9,302万円(2億6,633万1千円)

耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターの27年度までの完成を目指し、工事を継続します。

(2)環境保全

(ア)水環境・自然環境の保全

(継続) 休廃止鉱山鉱害対策事業【環境対策課】826万円

休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(公益財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。

(継続) よみがえれ大又川連絡協議会活動事業【環境対策課】25万円

大又川の水質の再生を目指して生活雑排水処理施設の効力の研究、合成洗剤から石鹼への切り替え運動等を実施している連絡協議会の活動費用の一部を助成します。

(イ)地球温暖化の防止

(増額) 緑のカーテン運動推進事業【環境対策課】30万円(26万8千円)

地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。

(ウ)環境美化と環境衛生

(継続) 全市民によるごみ拾い運動事業【環境対策課】1万5千円

6月を全市民によるごみ拾い運動月間と定め、市民に1人1個のごみ拾い運動への参加を呼びかけます。

(継続) 熊野市環境美化ボランティア推進事業【環境対策課】4万8千円

環境美化の維持を目的として、単独で環境美化を行っているボランティア団体へ清掃用具の提供、ボランティア保険の加入、サインボードの設置等の助成を行います。

⑤まちづくりの進め方

1 市民と行政の協働によるまちづくり

(1)市民参加の推進

(ア)情報の共有と広報・広聴の充実

(新規) 市施策等PR事業【市長公室】160万1千円

市が行う施策等を市民に周知することで、市が行っている事業への理解を深めます。

(継続) 広報紙内容充実事業【市長公室】12万円

広報クイズを実施し、市民参加型の広報紙として内容を充実し、市民と行政のコミュニケーションを深めます。

(継続) 市民意識調査事業【市長公室】30万3千円

市民アンケート調査で市民生活の状況や行政サービスに対する評価、満足度、ニーズを把握し行政運営に生かします。

(2)地域コミュニティの育成強化

(ア)地域コミュニティ活動への支援

(増額) 地域おこし協力隊等事業【市長公室】2,431万8千円(2,287万6千円)

各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を配置し、集落機能の強化を図ります。

(継続) 移住・交流推進事業【市長公室】46万1千円

都市部での移住・交流に関する情報発信等、都市部の移住希望者のニーズにあった移住・交流事業を推進し、定住人口の増加を目指します。

(継続) 移住交流のための空き家改修事業【市長公室】60万円

過疎集落における若者定住を推進するため、区やまちづくり協議会が市外の方の移住を進めていく場合において、空き家の改修をする際に原材料費相当分の補助を行います。

(継続) あいさつ運動推進事業【市民保険課】23万2千円

地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。

(イ)地域まちづくり協議会の充実

(継続) 地域まちづくり協働事業 1,627万6千円

各協議会において策定された総合計画に基づき、平成25年度に引き続き住民と市が協働で実施する「公助」の事業をまちづくり協働事業と位置づけ、補助金を交付するとともに、職員をアドバイザーとして協議会に参加させるなどの支援を行います。

(各地域の事業内容等についてはP59、60)

(継続) 地域まちづくり協議会活動報告事業【市長公室】5万円

オール熊野世界NO.1フェスティバルに合わせて、各地区地域まちづくり協議会の活動を文化交流センターで展示し、活動の認知度の向上、意欲高揚を図ります。

(ウ)環境整備

(新規)楊枝公民館修繕事業【教育委員会】20万2千円

楊枝区が所有する公民館のエアコン設置費の一部を補助します。

(新規)長尾公民館修繕事業【教育委員会】15万6千円

長尾区が所有する公民館の屋根、壁の塗装費用の一部を補助します。

(新規)大栗須公民館修繕事業【教育委員会】53万円

大栗須区が所有する公民館のシロアリ駆除及び改修費用の一部を補助します。

(新規)新鹿公民館資材持ち出し口進入路整備事業【教育委員会】7万5千円

新鹿公民館の資材持ち出し口への進入路の整備のため、原材料を支給します。

(新規)小船集会所駐車場進入路整備事業【教育委員会】13万9千円

小船集会所の駐車場入り口整備の原材料を支給します。

(3)市民活動の促進

(ア)市民活動と行政との協働の推進

(新規)まちづくり海外調査団研修事業【市長公室】354万6千円

地域資源を活用して、まちづくりを行っている海外の先進地を視察し、今後のまちづくりの発展につなげます。

(増額)「美し国おこし・三重」支援事業【市長公室】96万2千円(80万6千円)

地域の多様な主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して取り組む地域づくり活動について、立ち上げ段階での財政的支援並びに人材育成及び活動への助言等の支援を行います。

2 市民本位の行政

(1)行政サービスの向上と行財政改革の推進

(ア)市民に信頼され感謝される職員の育成

(増額) 職員研修事業【総務課】 400万円(205万5千円)

コーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。また、民間企業の業務効率化等の先進的な取り組みの中で、地方自治体として取り入れるべき点を学んで、効率的・効果的な行政システムの推進を図ります。

(継続) 職員企業等派遣研修事業【総務課】 74万2千円

職員を民間企業に派遣し、民間企業の「顧客感覚、経営感覚」などの厳しさを研修させることにより、職員の意識改革と資質の向上を図ります。

3 財政健全化に向けた取り組み

(1)人件費の削減

(ア)退職職員の不補充(退職17人、採用8人)による減 6,300万円

(2)公債費繰上償還の実施

(ア)繰上償還を実施し、後年度公債費の負担を軽減させます。

繰上償還額 5億9,698万8千円

平成26年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	予算額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
		事業の内容			
荒坂	屋外掲示板設置事業	情報伝達手段の整備	1,997	市長公室	1,997
		屋外掲示板を町内9ヶ所に設置			
遊木	災害に強いまちづくり事業	防災意識の向上	72	防災対策推進課	72
		①補助具を利用した肢体不自由者の避難訓練 ②避難所運営のための炊き出し訓練			
新鹿	里川二重堤防 土嚢災害復旧及び延長事業	新鹿海岸の砂浜保全	376	水産・商工振興課	2,000
	災害に強いまちづくり事業	避難経路の整備	1,500	防災対策推進課	
		①停電時避難誘導灯の避難経路への設置。 ②避難経路上の既存街灯について、停電時避難誘導灯へ交換			
花づくり事業	町内景観の向上	124	市長公室		
波田須	地域防災力強化事業	地域の防災力向上	760	防災対策推進課	1,088
	徐福の花の郷づくり事業	熊野古道と花の里によるまちづくり	245	市長公室	
		花壇の整備及び維持管理用具置き場の整備			
熊野古道活用活性化事業	観光客の受け入れ態勢の整備	83	観光スポーツ交流課		
磯崎	防災拠点整備事業	地域の防災力向上	1,242	防災対策推進課	1,422
	水源地・維持整備事業	断水に備えた水源地の確保	78	防災対策推進課	
		①整備済みの水源地において清掃活動を実施			
きれいなまちづくり 推進事業	町内景観の向上	102	市長公室		
大泊	環境美化普及事業	地域環境の改善	348	環境対策課	537
	観光案内板更新事業	観光客の受け入れ態勢の整備	189	観光スポーツ交流課	
①案内板に関する内容修正作業及び設置作業					
木本	災害に強いまちづくり事業	地域防災力の向上	270	防災対策推進課	270
井戸	井戸川環境美化事業	EMIによる井戸川的环境美化	339	環境対策課	1,462
	井戸川憩いとふれあいの場 提供事業	桜の名所を演出し、地域住民に憩いとふれあいの場の創出	51	観光スポーツ交流課	
		①夜桜のライトアップ ②花見イベントの実施			
	災害時水源マップ 水源道標看板設置事業	断水に備え、井戸やわき水の場所への道標看板の設置	100	防災対策推進課	
井戸町 歴史伝承冊子作成事業	町内の歴史、文化、由来等をまとめた冊子を配布し、住民の愛着を深める	972	教育委員会		
		町内の歴史文化由来などの調査及び冊子の作成・配布			

平成26年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	予算額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
		事業の内容			
有馬	地域マップ作成事業	町内の名所・旧跡等を記した地域マップを作成し、住民の愛着を深める	229	教育委員会	229
		地域マップの掲載内容に関する調査・検討・とりまとめ			
久生屋	久生屋地区文化伝承事業	古くからの言い伝えや伝統行事を伝承する	27	教育委員会	27
		①言い伝えや昔話の録音 ②音頭や踊りの撮影			
金山	環境美化保全活動推進事業	町内環境美化、生物保全の実施	226	環境対策課	226
		①河川環境美化活動 ②ホテルの里づくり ③メダカ池周辺の清掃・メダカの保全			
育生	とこね広場周辺整備事業	町内外の人達の交流と憩いの場づくり	168	農業振興課	1,972
	①排水対策作業 ②立ち木手入れ・草刈り作業				
	旧育生青年会館 解体整備事業	老朽化した旧青年会館の解体撤去による安全確保	1,804	教育委員会	
	①住民参加による解体撤去作業				
神川	カプトムシ公園（仮称）事業	体験公園を整備し交流を図り活性化を目指す	2,000	林業振興課	2,000
		カプトムシが羽化する場所を公園として整備する			
五郷	新地場産業興し研究事業	新たな地場産業による地域の活性化	529	農業振興課	569
	①生産量向上のため、新たな苗木の植え付け及び獣害ネット設置 ②作業効率向上のため、お茶刈り機導入				
	安心して住める まちづくり事業	防災意識の向上	40	防災対策推進課	
	①避難訓練の実施 ②災害により破損した消火栓ホース格納箱の設置				
飛鳥	飛鳥地区助け合い事業	ボランティアグループの運営を支援	619	健康・長寿課	1,074
	①高齢者宅周辺での草刈り等の環境整備 ②自走式草刈り機の配備による作業効率の向上				
	小又地区 自然活用活性化事業	自然を活用した地域おこし			
	飛鳥地区 高齢者生きがい対策事業	小又地区のピオトープ「めだかの学校」を活用した地域活性化事業	368	環境対策課	87
		グラウンドゴルフを通じた高齢者の交流と生きがいづくり	77	健康・長寿課	
	交流の場となるグラウンドゴルフ場の整備	交流の場となるグラウンドゴルフ場の整備	77	健康・長寿課	228
		①高齢者の住宅周辺の除草及び樹木の伐採 ②道路や公共施設周辺の樹木の伐採 ③伐採した樹木の再利用（炭化）			
上川	高齢者支援、 地域景観保護事業	快適な生活環境と地域の美しい景観の整備	228	環境対策課	228
	①高齢者の住宅周辺の除草及び樹木の伐採 ②道路や公共施設周辺の樹木の伐採 ③伐採した樹木の再利用（炭化）				
入鹿	紀州鉾山選鉾場跡地 保存事業	観光資源周辺の環境美化	602	観光スポーツ交流課	653
	①鉾山選鉾場跡地を観光資源として利用するための環境保全作業 ②ライトアップを行い、市内外に選鉾場跡地のPRを行う				
	入鹿地区今昔地域暮らし 画像等保存事業	地域の暮らしや文化に関する写真資料の保存及び展示	51	教育委員会	
		①入鹿地区における過去の暮らしや文化を写した写真を公募 ②展示資料を作成し展示する			
西山	赤木城史跡周辺 イメージアップ事業	赤木城史跡景観保全	77	教育委員会	450
	①景観を損ねている立木の伐採				
	小森地区 地域活動支援事業	地域住民の交流や活動拠点の環境整備	373	観光スポーツ交流課	
		公園周辺に獣害防止策を設置し、野生動物の糞害防止を図る			
合 計				34事業	16,276